

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3169203号
(U3169203)

(45) 発行日 平成23年7月21日 (2011.7.21)

(24) 登録日 平成23年6月29日 (2011.6.29)

(51) Int.Cl. F 1
G 0 9 F 9/00 (2006.01) G 0 9 F 9/00 3 0 2

評価書の請求 未請求 請求項の数 14 O L (全 47 頁)

(21) 出願番号 実願2011-2519 (U2011-2519)
(22) 出願日 平成23年5月9日 (2011.5.9)(73) 実用新案権者 509184313
有限会社シーガル
岡山県岡山市北区北方2丁目3-8
(73) 実用新案権者 511112560
亀川 智一
大阪府岸和田市加守町1丁目5-5-302
(74) 代理人 100107917
弁理士 笠原 英俊
(72) 考案者 江川 省吾
岡山県岡山市北区北方2丁目3-8 有限
会社シーガル内
(72) 考案者 亀川 智一
大阪府岸和田市加守町1丁目5-5-302

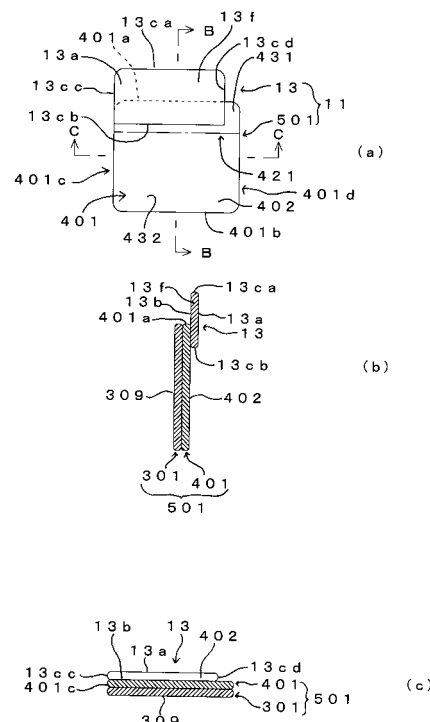
(54) 【考案の名称】 保護シート保持物

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】電子機器の表示部に位置決めを容易に行いつつ、接着面側に指紋・ゴミの付着及び気泡の混入を低減しながら簡単に素早く貼着でき、貼着面に凹凸を生じない保護シート保持物を提供する。

【解決手段】保護シート保持物11は、電子機器の、表示部に貼着するための貼着面が裏面に形成された透明な保護シート301と、裏面の少なくとも一部が貼着面に貼着された剥離シート本体401と、その裏面に対応する剥離シート本体の表面を横断する基準線分421が剥離シート本体の表面402を第1領域と第2領域とに分割する少なくとも第1領域に取り付けられた補助シート13と、を有してなる剥離シートと、を備える。また、基準線分の少なくとも一部である規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、少なくとも第1領域における規定線分部分に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度を補助シートが高める。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器の表示部に貼着する透明な保護シートを保持した保護シート保持物であって、表示部に貼着するための貼着面が裏面に形成された透明な保護シートと、

裏面の少なくとも一部が貼着面に貼着された剥離シート本体と、貼着面に貼着された剥離シート本体の裏面に対応する剥離シート本体の表面を横断する基準線分が剥離シート本体の表面を第 1 領域と第 2 領域とに分割する少なくとも第 1 領域に取り付けられた補助シートと、を有してなる剥離シートと、
を備えてなり、

基準線分の少なくとも一部である規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、少なくとも第 1 領域における規定線分部分に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度を補助シートが高めるものである、保護シート保持物。

【請求項 2】

補助シートが、規定線分部分に沿った縁部である規定縁部を有するものである、請求項 1 に記載の保護シート保持物。

【請求項 3】

補助シートが、第 2 領域に取り付けられていないものである、請求項 2 に記載の保護シート保持物。

【請求項 4】

補助シートが、第 1 領域にて規定縁部が規定線分部分に沿う第 1 部分と、第 2 領域にて規定縁部が規定線分部分に沿う第 2 部分と、を含んでなり、

第 1 部分と第 2 部分とが規定線分部分に沿った分断部を挟んで取り付けられるものである、請求項 2 に記載の保護シート保持物。

【請求項 5】

補助シートが、規定線分部分に跨るよう第 1 領域と第 2 領域とに連続するものであり、規定線分部分に沿った補助シートの曲げ強度が補助シートの他の部分よりも曲げ強度が小さいものである、請求項 1 に記載の保護シート保持物。

【請求項 6】

補助シートが、規定線分部分に沿ったスリット部分を有するものである、請求項 5 に記載の保護シート保持物。

【請求項 7】

スリット部分が、補助シートに形成された閉じた内縁により形成されるものである、請求項 6 に記載の保護シート保持物。

【請求項 8】

スリット部分が、規定線分部分に沿って複数形成されるものである、請求項 6 又は 7 に記載の保護シート保持物。

【請求項 9】

補助シートが、規定線分部分に沿った薄肉部分を有するものである、請求項 5 に記載の保護シート保持物。

【請求項 10】

補助シートが、規定線分部分に沿ったミシン目部分を有するものである、請求項 5 に記載の保護シート保持物。

【請求項 11】

剥離シート本体の外縁から外方に張り出す把持部分を有し、剥離シート本体の表面に取り付けられた把持シートを有するものである、請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 に記載の保護シート保持物。

【請求項 12】

把持部分が、基準線分に対し垂直方向に向かって剥離シート本体の外縁から外方に張り出すものである、請求項 11 に記載の保護シート保持物。

【請求項 13】

把持部分が、基準線分に対して平行方向に向かって剥離シート本体の外縁から外方に張り出すものである、請求項 1 1 又は 1 2 に記載の保護シート保持物。

【請求項 1 4】

補助シートの一部が把持シートを構成するものである、請求項 1 1 乃至 1 3 のいずれか 1 に記載の保護シート保持物。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本考案は、保護シート保持物に関し、より詳細には、電子機器の表示部に貼着する透明な保護シートを保持した保護シート保持物に関する。

10

【背景技術】

【0 0 0 2】

携帯電話やパーソナルコンピュータ等のような電子機器が有する表示部を保護するため、表示部に透明な保護シートを貼着することが行われている（例えば、特許文献 1 参照）。

特許文献 1 は、「電子機器の表示部に縦横方向の位置決めを容易に行いつつ、さらに、保護シートの接着面側に指紋・ゴミの付着及び気泡の混入を低減しながら簡単に素早く貼着できる保護シートの装着構造体を提供する」（特許文献 1、考案の詳細な説明中、段落番号 0 0 0 7）ためになされたもので、具体的には、「電子機器の表示部に貼着する透明な保護シートの装着構造体であって、保護シートは、裏面に透明な接着層が形成され、前記接着層に剥離シートを貼着し、前記剥離シートには、分割するための分割領域と、前記分割領域を挟んで上下或は左右に貼着した複数の分割シート体からなり、前記保護シートを前記表示部に貼着するに際しては、一方の分割シート体を分割領域から前記保護シートより剥離することによって接着面の一部分を前記表示部における縦横方向の位置決めをしながら前記表示部に貼着し、次いで、前記保護シートの接着面の一部分が前記表示部に貼着したままの状態、他の分割シート体を前記保護シートから剥離して前記保護シートの全面を表示部全面に貼着するように構成した保護シートの装着構造」（特許文献 1、考案の詳細な説明中、段落番号 0 0 0 8）であり、それによって「剥離シートに分割領域を形成し、分割領域から上下或は左右に複数の分割シート体に分割して剥離することができるようにしたので、表示部に保護シートを貼着する際には、分割領域から一方の分割シート体を剥離して、露見した接着面を表示部に貼着し、そのまま他方の分割シート体を保護シートから剥離しながら表示部全面に保護シートを貼着することができるので、電子機器の表示部に縦横方向の位置決めを行いつつ保護シートに指紋・ゴミの付着及び気泡の混入を低減して保護シートを正確に貼着することができる。しかも、作業者にとっては高度な貼着技術を必要とせず、だれでも短時間で貼着可能であり、且つ保護シートの貼りなおしを低減することが可能となる効果がある。」（特許文献 1、考案の詳細な説明中、段落番号 0 0 1 5）ものが開示されている。

20

30

【先行技術文献】

【特許文献】

【0 0 0 3】

40

【特許文献 1】登録実用新案第 3 1 5 3 6 0 5 号公報（例えば、要約、段落番号 0 0 0 1 ～ 0 0 1 5、第 1 図、第 2 図及び第 5 図等）

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0 0 0 4】

このような特許文献 1 に開示された保護シートの装着構造においては、保護シートの裏面に形成された透明な接着層に、剥離シートを分割するための分割領域を有する剥離シートを貼着した状態で保護シートを保持するので、剥離シートの一方の分割シート体と他方の分割シート体との間に生じる凹凸により、剥離シートが貼着される保護シートの接着層にも凹凸を生じる問題があった（柔軟な接着層は、接着層が密接する剥離シートに存する

50

凹凸に応じて容易に変形する)。かかる接着層の凹凸は、保護シートを表示部に貼着した際、保護シート表面に凹凸を生じたり、表示部の表示像に歪みを生じる原因となることがあった。

そこで、本考案では、表示部に貼着するための貼着面（特許文献１においては接着層の表示部に貼着される面）が裏面に形成された透明な保護シートの貼着面に剥離シートを貼着した状態で保護シートを保持した保護シート保持物において、特許文献１の課題「電子機器の表示部に縦横方向の位置決めを容易に行いつつ、さらに、保護シートの接着面側に指紋・ゴミの付着及び気泡の混入を低減しながら簡単に素早く貼着できる」ことに加え、貼着面に凹凸を生じない保護シート保持物を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

本考案の保護シート保持物（以下、「本保持物」という。）は、電子機器の表示部に貼着する透明な保護シートを保持した保護シート保持物であって、表示部に貼着するための貼着面が裏面に形成された透明な保護シートと、裏面の少なくとも一部が貼着面に貼着された剥離シート本体と、貼着面に貼着された剥離シート本体の裏面に対応する剥離シート本体の表面を横断する基準線分が剥離シート本体の表面を第１領域と第２領域とに分割する少なくとも第１領域に取り付けられた補助シートと、を有してなる剥離シートと、を備えてなり、基準線分の少なくとも一部である規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、少なくとも第１領域における規定線分部分に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度を補助シートが高めるものである、保護シート保持物である。

【０００６】

本保持物は、特許文献１の保護シートと同様、電子機器の表示部に貼着する透明な保護シートを保持する保護シート保持物である。電子機器としては、表示部を有するものであれば特に限定されないが、例えば、携帯電話、パーソナルコンピュータ、ゲーム機、画像再生装置（ＤＶＤプレーヤー、デジタルカメラ等）、ナビゲーションシステム（車載用を含む）等を例示的に挙げることができる。そして、表示部は、電子機器が発生する情報を表示するものであれば特に制限されず、表示部に接触することで電子機器に動作を命令したり情報を入力することを伴うもの（いわゆるタッチパネル）か否かは問わない。このような電子機器の表示部を保護（表示部へ他の物が直接衝突したり摩擦等することから表示部を保護する）するため表示部へ貼着される保護シートが、表示部への貼着に供されるまで本保持物として保持される。

【０００７】

本保持物は、保護シートと剥離シートとを備えてなる。

保護シートは、表示部に表示される情報を保護シートを通して目視可能でなければならぬので透明である。そして、保護シートは、電子機器の表示部に保護シートを貼着するための貼着面が裏面に形成されるが、貼着面は表示部に保護シートを貼着できれば足り、保護シートが接着層を有するか否かは問わない。例えば、保護シート全体がゲル状物質によって形成されることで格別の接着層を有さずに表示部に裏面が貼着されるような場合や、保護シートが静電気によって格別の接着層を有さずに表示部に裏面が貼着されるような場合等を含む。

【０００８】

剥離シートは、剥離シート本体と補助シートとを有してなる。

剥離シート本体は、剥離シート本体の裏面の少なくとも一部が貼着面に貼着されるものであり（剥離シート本体の裏面の全部又は一部が貼着面に貼着される）、保護シートの貼着面を覆うことで貼着面を保護する。

補助シートは剥離シート本体の表面に取り付けられる。ここに剥離シート本体の裏面のうち貼着面に貼着された裏面部分に対応する剥離シート本体の表面（この裏面部分に対応する剥離シート本体の表面とは、剥離シート本体の表面を平面に沿わせた際、裏面部分の該表面への正投影をいう。）を横断する基準線分が該表面を第１領域と第２領域とに分割し、少なくとも第１領域に補助シートは取り付けられる（補助シートが、第１領域のみに

10

20

30

40

50

取り付けられる場合と、第1領域と第2領域とに取り付けられる場合と、の両方の場合を含む)。

【0009】

この剥離シート本体の表面に取り付けられた補助シートが、基準線分の少なくとも一部(基準線分の一部又は全部)である規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度(補助シートが取り付けられた剥離シート本体の表面側から見て剥離シートを規定線分部分に沿って谷折りする際の曲げ強度)よりも、少なくとも第1領域における規定線分部分に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度(規定線分部分に平行な第1領域側に存する線分(該線分は第1領域のうち、補助シートが取り付けられている部分に存する))に沿って、補助シートが取り付けられた剥離シート本体の表面側から見て剥離シートを谷折りする際の曲げ強度)を高める。即ち、補助シートによって、規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、規定線分部分に平行な第1領域に存する線分に沿った剥離シートの曲げ強度が大きくなるので、規定線分部分を一部又は全部とする基準線分に沿って剥離シートを谷折りすることが容易になる。

これによって剥離シートを基準線分に沿って谷折りすることで、剥離シート本体の裏面を貼着面から剥離し、貼着面の一部を露出させる際、基準線分(基準線分の一部又は全部が規定線分部分である)に沿った剥離シートの曲げ強度よりも少なくとも第1領域における基準線分に平行な線分(該線分は補助シートが取り付けられている位置に存する)に沿った剥離シートの曲げ強度が高いことから、基準線分に沿った谷折りが容易になり、貼着面の一部をうまく露出させることができる。貼着面の一部を露出させれば、特許文献1の保護シートと同様、露出させた一部の貼着面を表示部に貼着し、そのまま剥離シートを貼着面から剥離しつつ表示部に保護シートを貼着することができる。

また、基準線分のうち規定線分部分のなす割合((規定線分部分の長さ)/(基準線分の長さ))は、あまり小さいと基準線分に沿った剥離シートの谷折りがあまり容易にならないことから、好ましくは0.5以上であり、より好ましくは0.6以上であり、最も好ましくは0.7以上である(無論、上限は1.0である)。

以上のように本保持物によれば、特許文献1の保護シートと同様、電子機器の表示部に縦横方向の位置決めを容易に行いつつ、さらに、保護シートの接着面側に指紋・ゴミの付着及び気泡の混入を低減しながら簡単に素早く貼着できることに加え、貼着面に貼着される剥離シート本体の裏面には、特許文献1のような剥離シートの凹凸が存しないことから貼着面に凹凸を生じることがない。

【0010】

本保持物においては、補助シートが、規定線分部分に沿った縁部である規定縁部を有するもの(以下、「規定縁部保有本保持物」という)であってもよい。

補助シートは、上述の如く、規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、第1領域における規定線分部分に平行な線分(補助シートが取り付けられている位置に存する)に沿った剥離シートの曲げ強度を高めるものであればよいが、例えば、規定線分部分に沿った縁部である規定縁部を有するものであってもよい。このような規定縁部を有することで、規定縁部が形成された規定線分部分には補助シートが存在しないことに加え、規定線分部分に沿った規定縁部よりも規定線分部分より遠ざかる位置(第1領域)には補助シートが存在するので、補助シートが第1領域において剥離シート本体を補強し、規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、第1領域における規定線分部分に平行な線分(補助シートが取り付けられている位置に存する)に沿った剥離シートの曲げ強度を容易かつ確実に高めることができる。

【0011】

規定縁部保有本保持物の場合、補助シートが、第2領域に取り付けられていないものであってもよい。

こうすることで補助シートを第1領域のみに取り付ければ良いので、補助シートを容易かつ安価に形成でき、本保持物を廉価に構成できる。

【0012】

規定縁部保有本保持物の場合、補助シートが、第1領域にて規定縁部が規定線分部分に沿う第1部分と、第2領域にて規定縁部が規定線分部分に沿う第2部分と、を含んでなり、第1部分と第2部分とが規定線分部分に沿った分断部を挟んで取り付けられるものであってもよい。

このように第1領域に存する規定縁部を有する第1部分と、第2領域に存する規定縁部を有する第2部分と、が規定線分部分に沿った分断部を挟んで取り付けられることで、分断部によって規定線分部分を補助シートが補強することなく、第1領域側は第1部分が剥離シート本体を補強すると共に第2領域側は第2部分が剥離シート本体を補強するので、規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、その両側（第1領域及び第2領域）における規定線分部分に平行な線分（補助シートが取り付けられている位置に存する）に沿った剥離シートの曲げ強度を高めるので、第1領域及び第2領域における意図しない折曲げを防止又は減少させ、基準線分に沿った剥離シートの谷折りを一層容易かつ確実ならしめる。

【0013】

本保持物においては、補助シートが、規定線分部分に跨るよう第1領域と第2領域とに連続するものであり、規定線分部分に沿った補助シートの曲げ強度が補助シートの他の部分よりも曲げ強度が小さいもの（以下、「規定線分部分低強度本保持物」という）であってもよい。

規定線分部分に跨るよう第1領域と第2領域とに連続する補助シートのうち規定線分部分に沿う部分の曲げ強度が他の部分の曲げ強度よりも小さくすることで、第1領域と第2領域とに連続する補助シートとして取り扱い（特に、補助シートが剥離シート本体の表面に取り付けられるまでの取り扱い）が容易であることに加え、補助シートが、規定線分部分に沿った剥離シートの曲げ強度よりも、その両側（第1領域及び第2領域）における規定線分部分に平行な線分（補助シートが取り付けられている位置に存する）に沿った剥離シートの曲げ強度を高め、第1領域及び第2領域における意図しない折曲げを防止又は減少させ、基準線分に沿った剥離シートの谷折りを一層容易かつ確実ならしめる。

【0014】

規定線分部分低強度本保持物の場合、補助シートが、規定線分部分に沿ったスリット部分を有するもの（以下、「スリット部分保有本保持物」という）であってもよい。

補助シートに規定線分部分に沿ったスリット部分（細い隙間部分）を形成することで、規定線分部分に跨るよう第1領域と第2領域とに連続する補助シートのうち規定線分部分に沿う部分の曲げ強度を他の部分の曲げ強度よりも容易かつ確実に小さくすることができる。

【0015】

スリット部分保有本保持物の場合、スリット部分が、補助シートに形成された閉じた内縁により形成されるものであってもよい。

こうすることでスリット部分が閉じた縁部によって規定されるので、スリット部分が高い強度を保持できると共に、第1領域と第2領域とに連続する補助シートとして取り扱い（特に、補助シートが剥離シート本体の表面に取り付けられるまでの取り扱い）が一層容易である（スリット部分が開いた縁部により規定される場合には、該縁部が不意に開閉する等といった問題が生じ得る。）。

【0016】

スリット部分保有本保持物の場合、スリット部分が、規定線分部分に沿って複数形成されるものであってもよい。

こうすることでスリット部分の両縁が規定線分部分に沿って複数箇所で連結される（複数形成されるスリット同士の間の部分はスリット部分の両縁が連結されている。）ので、スリット部分が高い強度を保持できると共に、第1領域と第2領域とに連続する補助シートとして取り扱いが一層容易である（特に、補助シートが剥離シート本体の表面に取り付けられるまでにスリット部分の縁部が揺れ動くこと等を防止又は減少できる）。

【0017】

規定線分部分低強度本保持物の場合、補助シートが、規定線分部分に沿った薄肉部分を有するものであってもよい。

補助シートに規定線分部分に沿った薄肉部分（厚みが薄い部分。例えば、規定線分部分に沿った凹条）を形成することで、規定線分部分に跨るよう第1領域と第2領域とに連続する補助シートのうち規定線分部分に沿う部分の曲げ強度を他の部分の曲げ強度よりも容易かつ確実に小さくすることができる。

【0018】

規定線分部分低強度本保持物の場合、補助シートが、規定線分部分に沿ったミシン目部分を有するものであってもよい。

補助シートに規定線分部分に沿ったミシン目部分（連続的に設けた穴）を形成することで、規定線分部分に跨るよう第1領域と第2領域とに連続する補助シートのうち規定線分部分に沿う部分の曲げ強度を他の部分の曲げ強度よりも容易かつ確実に小さくすることができる。

【0019】

本保持物においては、剥離シート本体の外縁から外方に張り出す把持部分を有し、剥離シート本体の表面に取り付けられた把持シートを有するもの（以下、「把持シート保有本保持物」という）であってもよい。

こうすることで剥離シート本体の表面に取り付けられた把持シートが有する把持部分（剥離シート本体の外縁から外方に張り出す部分）を本保持物の使用者が手で把持し、把持部分を引っ張ることで剥離シート本体の裏面を貼着面から剥離し、貼着面の一部を露出させやすくなる。

【0020】

把持シート保有本保持物の場合、把持部分が、基準線分に対し垂直方向に向かって剥離シート本体の外縁から外方に張り出すものであってもよい。

こうすることで把持シートが有する把持部分を本保持物の使用者が手で把持し把持部分を引っ張ることで、剥離シートを基準線分に沿って谷折りする方向に剥離シートに力を加えやすい（把持部分を引っ張ると、剥離シートを基準線分に沿って谷折りするようになりやすい）。

【0021】

把持シート保有本保持物の場合、把持部分が、基準線分に対して平行方向に向かって剥離シート本体の外縁から外方に張り出すものであってもよい。

こうすることで把持シートが有する把持部分を本保持物の使用者が手で把持し把持部分を引っ張ることで、基準線分に沿って剥離シート本体の裏面を貼着面から剥離しやすい（把持部分を引っ張ると、剥離シート本体を基準線分に沿って剥離する力を加えやすい）。

【0022】

把持シート保有本保持物の場合、補助シートの一部が把持シートを構成するものであってもよい。

こうすることで補助シートの一部が、剥離シート本体の外縁から外方に張り出す把持部分を有する把持シートを構成するので、補助シートと格別の把持シートを設ける必要がなく、把持シート保有本保持物を構成する部品点数を減少させ、把持シート保有本保持物を容易かつ廉価に製造できる。加えて、把持部分を本保持物の使用者が手で把持し把持部分を引っ張ることで、補助シートに直接力を加えることができ、剥離シートを基準線分に沿ってうまく谷折りすることができる。

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図1】本考案の保護シート保持物（本保持物）を構成する一実施形態のシート複合体を示す図面である。

【図2】第1実施形態の本考案の保護シート保持物（第1本保持物）を示す図である。

【図3】第1本保持物の保護シートを電子機器の表示部に貼着する方法の第1ステップS1を説明する図である。

10

20

30

40

50

【図 4】第 1 本保持物の保護シートを電子機器の表示部に貼着する方法の第 2 ステップ S 2 及び第 3 ステップ S 3 を説明する図である。

【図 5】第 1 本保持物の保護シートを電子機器の表示部に貼着する方法の第 4 ステップ S 4 乃至第 6 ステップ S 6 を説明する図である。

【図 6】第 2 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 2 本保持物）を示す図である。

【図 7】第 3 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 3 本保持物）を示す図である。

【図 8】第 4 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 4 本保持物）を示す図である。

【図 9】第 5 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 5 本保持物）を示す図である。

【図 10】第 6 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 6 本保持物）を示す図である。

【図 11】第 7 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 7 本保持物）を示す図である。

【図 12】第 8 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 8 本保持物）を示す図である。

【図 13】第 9 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 9 本保持物）を示す図である。

【図 14】第 10 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 10 本保持物）を示す図である。

【図 15】第 11 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 11 本保持物）を示す図である。

【図 16】第 12 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 12 本保持物）を示す図である。

【図 17】第 13 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 13 本保持物）を示す図である。

【図 18】第 14 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 14 本保持物）を示す図である。

【図 19】第 15 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 15 本保持物）を示す図である。

【図 20】第 16 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 16 本保持物）を示す図である。

【図 21】第 17 実施形態の本考案の保護シート保持物（第 17 本保持物）を示す図である。

【考案を実施するための形態】

【0024】

本考案の実施の形態を図面を参照して詳述するが、本考案はこれに限定されるものではない。

【0025】

図 1 は、本考案の保護シート保持物（本保持物）を構成する一実施形態のシート複合体 501 を示す図面であり、シート複合体 501 は、電子機器の表示部（不図示）に貼着する透明な保護シート 301 と、保護シート 301 の貼着面 303 に裏面 404 が貼着された剥離シート本体 401 と、を含んでなる。図 1（a）はシート複合体 501 を剥離シート本体 401 の表面 402 側から見たところを示し（表面 402 を平面に沿わせた際、表面 402 に対して垂直方向から見たところを示す。）、図 1（b）は図 1（a）の B-B 断面図であり、図 1（c）は図 1（a）の C-C 断面図であり、そして図 1（d）は剥離シート本体 401 の一部を保護シート 301 から剥離したところを示す断面図である。図 1 を参照して、シート複合体 501 について説明する。なお、ここでは図示及び理解を容易にするため、保護シート 301 及び剥離シート本体 401 のいずれも実際よりも厚く図示している。

【0026】

ここでは保護シート 301 の両主表面と、剥離シート本体 401 の両主表面と、のいずれも同形状をなしており、具体的には、互いに略平行な一対の対辺 301 a、301 b と互いに略平行な一対の対辺 301 c、301 d とによって規定される長方形の角部を丸められた形状を保護シート 301 の両主表面はなし、互いに略平行な一対の対辺 401 a、401 b と互いに略平行な一対の対辺 401 c、401 d とによって規定される長方形の

10

20

30

40

50

角部を丸められた形状を剥離シート本体４０１の両主表面はなし、そしてこれら保護シート３０１の両主表面がなす該長方形の角部を丸められた形状と剥離シート本体４０１の両主表面がなす該長方形の角部を丸められた形状とはここでは略同一とされており、保護シート３０１と剥離シート本体４０１とが丁度重なるように貼着面３０３に裏面４０４が貼着されている。

【００２７】

保護シート３０１は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムによって形成された保護シート本体３０７と、保護シート本体３０７の一主表面に沿って形成された透明な接着層３０５（電子機器の表示部（不図示）に保護シート３０１を接着するための接着剤によって形成された層）と、を含んでなり（図１（ｄ）参照。図１（ｄ）以外の図は、図示を容易にするため保護シート本体３０７と接着層３０５とを分けず一体に示している。）、接着層３０５の表面（保護シート本体３０７とは反対の面）によって保護シート３０１の貼着面３０３が形成されている。もっとも、保護シート３０１が保護シート本体３０７と格別の接着層３０５を有する必要は必ずしもなく、例えば、保護シート本体自体が表示部（不図示）に密接することで保護シート３０１が表示部（不図示）に貼着されるような場合（通常、保護シート本体が粘着性を有するような場合）や、保護シート本体自体が静電気によって表示部（不図示）に吸着されるような場合であれば、接着層３０５を設ける必要は必ずしもない。加えて、保護シート３０１の操作面３０９（貼着面３０３とは反対の面）に機能層（ハードコート層、光反射防止層等）を設けるようにしてもよい。

【００２８】

剥離シート本体４０１は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており、保護シート３０１の貼着面３０３に裏面４０４が貼着されている。ここでは剥離シート本体４０１の裏面４０４の全部が貼着面３０３に貼着されているが、これに限定されるものではなく、裏面４０４の少なくとも一部（即ち、裏面４０４全部の場合と、裏面４０４の一部の場合と、の両場合を含む）が貼着面３０３に貼着されていればよい。剥離シート本体４０１は、保護シート３０１が電子機器の表示部（不図示）への貼着に供されるまで貼着面３０３を保護（不意に貼着面３０３が他のものと接触したり、貼着面３０３に埃が付着すること等を防止する。）するため貼着面３０３をカバーするためのものである（保護シート３０１に対してシール台紙のような機能を有する。）。

剥離シート本体４０１は、貼着面３０３に貼着された剥離シート本体４０１の裏面４０４部分に対応する剥離シート本体４０１の表面４０２部分を横断する線分である基準線分４２１（仮想上の線分であり、剥離シート本体４０１の表面４０２に描かれる必要はないが、表面４０２に目視可能に描かれてもよい。なお、ここでは他の線と容易に区別できるよう、一点鎖線にて図示している。）が決められている。基準線分４２１は、基準線分４２１を境界線として表面４０２を小領域４３１と大領域４３２とに分割し、ここでは基準線分４２１は一对の対辺４０１ａ、４０１ｂに略平行にされると共に、小領域４３１と大領域４３２とを面積比で約１：２（無論、小領域４３１の方が小さい）に分割している。

後述するが、基準線分４２１に沿って剥離シート本体４０１を表面４０２から見て谷折りすることで（小領域４３１を貼着面３０３から剥離する。）、小領域４３１により覆われていた貼着面３０３の一部が露出するので、保護シート３０１を電子機器の表示部（不図示）に対し所望位置に貼着できるよう、貼着面３０３の露出した該一部を電子機器の表示部（不図示）に貼着した後、大領域４３２を貼着面３０３からゆっくり剥離し貼着面３０３の残部（該一部以外の部分）を露出させつつ電子機器の表示部（不図示）に貼着することができる。このような保護シート３０１の貼着面３０３を電子機器の表示部（図示せず）に貼着する作業をうまく行うことができるよう、基準線分４２１は剥離シート本体４０１表面４０２の所定位置に決定されている。

【００２９】

（第１実施形態）

図２は、第１実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第１本保持物」という。）１１を示す図であり、詳細には、図２（ａ）は第１本保持物１１を剥離シート本体４０

10

20

30

40

50

1の表面402側から見たところを示し（シート複合体501に関しては図1（a）と同様の方向から見ている）、図2（b）は図2（a）のB-B断面図であり、図2（c）は図2（a）のC-C断面図である。図2を参照して、第1本保持物11について説明する。

第1本保持物11は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする小領域431に取り付けられた補助シート13と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0030】

補助シート13は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面13bが表面402の小領域431に接着されることで剥離シート本体401の小領域431に取り付けられている。

補助シート13の表面13a及び裏面13bのいずれも、一对の対辺13ca、13cb（ここでは長辺）と、一对の対辺13cc、13cd（ここでは短辺）と、を有する略長方形をなし、辺13caの両端に形成される2の角部が丸められた形状を有している。

補助シート13は、剥離シート本体401の表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図2（a））から見て、辺13cbが基準線分421に沿うと共に（図示及び理解を容易にするため、辺13cbと基準線分421との間を実際よりも広く図示している。）、辺13ccが辺401cに沿うように小領域431に取り付けられている。そして、補助シート13は、辺13ca、13cbが辺401a、401bよりも短くされているので辺13cdが辺401dよりも辺401c側に存すると共に、辺13cc、13cdが小領域431の幅W（図1（a）参照。辺401c、401dに平行な小領域431の寸法）よりも大きくされているので、辺401aから外方に張り出す部分13f（図2（a）中、辺13caと辺401aとの間の補助シート13の部分）を有している。

【0031】

図3は、第1本保持物11の保護シート301を電子機器の表示部に貼着する方法の第1ステップS1を説明する図である。図3を参照して、第1本保持物11の貼着方法について説明する。なお、図3に示した第1本保持物11は、理解及び図示を容易にするため、図2に示した第1本保持物11とはやや形状を異にしている。図3（a1）は第1本保持物11を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示しており、図3（e1）は図3（a1）のz方向から第1本保持物11を見たところを示している（保護シート301を厚く図示している）。図3（a1）及び図3（e1）に示す状態の第1本保持物11を、図示しない貼着者が指（不図示）で外方に張り出す部分13fを把持し、辺13cbを中心に補助シート13を矢印V方向に回動させる（第1ステップS1）。辺13cbを中心とする補助シート13の矢印V方向への回動により、補助シート13の裏面13bが接着された剥離シート本体401の小領域431も辺13cbが沿う基準線分421に沿って折り畳まれ（表面402側から見て谷折り）、図3（a2）及び図3（e2）に示す状態の第1本保持物11となる。

図3（a2）及び図3（e2）に示す状態の第1本保持物11は、剥離シート本体401の小領域431が基準線分421に沿って折り畳まれ（小領域431が貼着面303から剥離する）、小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出する。

【0032】

図4は、第1本保持物11の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着する方法の第2ステップS2及び第3ステップS3を説明するための図である。図4を参照して、第1本保持物11の貼着方法について説明する。図4（a3）及び図4（a4）は電子機器601（例えば、携帯電話）の表示部603（タッチパネル画面）に対して垂直方向から見たところを示しており、図4（e3）は図4（a3）のz方向から見たところ

10

20

30

40

50

ろを示していると共に、図4(e4)は図4(a4)のz方向から見たところを示している。

図3(a2)及び図3(e2)に示した状態の第1本保持物11(小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出している)を、貼着面303の露出した該一部が電子機器601の表示部603に面する状態にて電子機器601の表示部603の所望位置に貼着できるよう図4(a3)及び図4(e3)の如く位置あわせする(第2ステップS2)。

その後、指701等によって貼着面303の露出した該一部を図4(a4)及び図4(e4)の如く表示部603に密接させ(第3ステップS3)、貼着面303の露出した該一部を電子機器601の表示部603に貼着する。

10

【0033】

図5は、第1本保持物11の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着する方法の第4ステップS4乃至第6ステップS6を説明するための図である。図5を参照して、第1本保持物11の貼着方法について説明する。図5(e5)～図5(e7)のいずれも図4(e4)と同様の位置から見たものである。

図4(a4)及び図4(e4)のように貼着面303の該一部を電子機器601の表示部603に貼着された第1本保持物11の補助シート13を把持できるよう、保護シート301及び剥離シート本体401と、表示部603と、の間に空間を形成する(第4ステップS4)。

その後、保護シート301及び剥離シート本体401と、表示部603と、の間の補助シート13を指(不図示)で把持し、図5(e5)中の矢印方向に補助シート13を移動させつつ(剥離シート本体401により覆われていた貼着面303が少しずつ露出する)、図5(e6)に示すように貼着面303を電子機器601の表示部603に貼着する(第5ステップS5～第6ステップS6)。

20

そして、最後に、図5(e7)に示すように、補助シート13とそれが接着された剥離シート本体401とを除去し、貼着面303全部を電子機器601の表示部603に貼着して(第6ステップS6)、第1本保持物11の保護シート301を電子機器601表示部603へ貼着する作業が完了する。この状態で保護シート301の操作面309に指先(不図示)を接触することで、電子機器601を操作することができる。

【0034】

30

以上説明したように、第1本保持物11は、電子機器601の表示部603に貼着する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面(操作面309とは反対の面)に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部(ここでは全部)が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域(ここでは小領域431)と第2領域(ここでは大領域432)とに分割する少なくとも第1領域(ここでは小領域431)に取り付けられた補助シート13と、を有してなる剥離シート(剥離シート本体401と補助シート13とを含んで剥離シートは構成される。)と、を備えてなり、基準線分421の少なくとも一部である規定線分部分(ここでは基準線分421のうち辺13cbが沿っている部分)に沿った剥離シートの曲げ強度(この曲げは、補助シート13を含まない剥離シート本体401のみを曲げる)よりも、少なくとも第1領域(ここでは小領域431)における規定線分部分(基準線分421のうち辺13cbが沿っている部分)に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度(この曲げは、補助シート13と剥離シート本体401との両方を曲げるので、補助シート13を含まない剥離シート本体401のみを曲げる場合に比し大きな力を要する)を補助シート13が高めるものである、保護シート保持物である。

40

【0035】

第1本保持物11においては、補助シート13が、規定線分部分(基準線分421のうち辺13cbが沿っている部分)に沿った縁部である規定縁部(ここでは辺13cb)を

50

有するものである。

第1本保持物11においては、補助シート13が、第2領域（ここでは大領域432）に取り付けられていないものである。

第1本保持物11においては、剥離シート本体401の外縁（辺401a、401b、401c、401d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分13f）を有し、剥離シート本体401の表面402に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート13のうち、外方に張り出す部分13fを含む一部が構成する）を有するものである。

第1本保持物11においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分13f）が、基準線分421に対し垂直方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401a）から外方に張り出すものである。

第1本保持物11においては、補助シート13の一部（外方に張り出す部分13fを含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0036】

（第2実施形態）

図6は、第2実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第2本保持物」という。）21を示す図であり、詳細には、図6（a）は第2本保持物21を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示し（シート複合体501に関しては図1（a）と同様の方向から見ている）、図6（b）は図6（a）のB-B断面図であり、図6（c）は図6（a）のC-C断面図である。図6を参照して、第2本保持物21について説明する。

第2本保持物21は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする小領域431に取り付けられた補助シート23と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0037】

補助シート23は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面23bが表面402の小領域431に接着されることで剥離シート本体401の小領域431に取り付けられている。

補助シート23の表面23a及び裏面23bのいずれも、一対の対辺23ca、23cb（ここでは長辺）と、一対の対辺23cc、23cd（ここでは短辺）と、を有する略長方形をなし、辺23caの両端に形成される2の角部が丸められた形状を有している。

補助シート23は、剥離シート本体401の表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図6（a））から見て、辺23cbが基準線分421に沿うと共に（図示及び理解を容易にするため、辺23cbと基準線分421との間を実際よりも広く図示している。）、辺23ccが辺401cに略平行かつ辺23cdが辺401dに略平行になるように小領域431に取り付けられている。そして、補助シート23は、辺23ca、23cbが辺401a、401bよりも短くされており辺23ccが辺401cよりも辺401d側に存すると共に辺23cdが辺401dよりも辺401c側に存する。また、補助シート23は、辺23cc、23cdが小領域431の幅W（図1（a）参照。辺401c、401dに平行な小領域431の寸法）よりも大きくされているので、辺401aから外方に張り出す部分23f（図6（a）中、辺23caと辺401aとの間の補助シート23の部分）を有している。

【0038】

かかる第2本保持物21は、図3に示した第1本保持物11の第1ステップS1と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分23fを把持し、辺23cbを中心に補助シート23を矢印V方向（図6（b）参照）に回動させることで（第1ステップS1）、補助シート23の裏面23bが接着された剥離シート本体401の小領域431を辺23cbが沿う

基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる（表面 4 0 2 側から見て谷折り）。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ～第 6 ステップ S 6 と同様に第 2 本保持物 2 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0039】

以上説明したように、第 2 本保持物 2 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面（操作面 3 0 9 とは反対の面）に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）と第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）とに分割する少なくとも第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）に取り付けられた補助シート 2 3 と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体 4 0 1 と補助シート 2 3 とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分 4 2 1 の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分 4 2 1 のうち辺 2 3 c b が沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート 2 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる）よりも、少なくとも第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）における規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 2 3 c b が沿っている部分）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート 2 3 と剥離シート本体 4 0 1 との両方を曲げるので、補助シート 2 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート 2 3 が高めるものである、保護シート保持物である。

【0040】

第 2 本保持物 2 1 においては、補助シート 2 3 が、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 2 3 c b が沿っている部分）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺 2 3 c b）を有するものである。

第 2 本保持物 2 1 においては、補助シート 2 3 が、第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）に取り付けられていないものである。

第 2 本保持物 2 1 においては、剥離シート本体 4 0 1 の外縁（辺 4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分 2 3 f）を有し、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート 2 3 のうち、外方に張り出す部分 2 3 f を含む一部が構成する）を有するものである。

第 2 本保持物 2 1 においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分 2 3 f）が、基準線分 4 2 1 に対し垂直方向に向かって剥離シート本体 4 0 1 の外縁（ここでは辺 4 0 1 a）から外方に張り出すものである。

第 2 本保持物 2 1 においては、補助シート 2 3 の一部（外方に張り出す部分 2 3 f を含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0041】

（第 3 実施形態）

図 7 は、第 3 実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第 3 本保持物」という。）3 1 を示す図であり、詳細には、図 7（a）は第 3 本保持物 3 1 を剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 側から見たところを示し（シート複合体 5 0 1 に関しては図 1（a）と同様の方向から見ている）、図 7（b）は図 7（a）の B-B 断面図であり、図 7（c）は図 7（a）の C-C 断面図である。図 7 を参照して、第 3 本保持物 3 1 について説明する。

第 3 本保持物 3 1 は、大まかには、図 1 に示し前述したシート複合体 5 0 1 と、シート複合体 5 0 1 を構成する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 のうち基準線分 4 2 1 を境界

線とする小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 3 3 と、を備えてなる。

ここにシート複合体 5 0 1 については、図 1 を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0042】

補助シート 3 3 は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面 3 3 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。

補助シート 3 3 の表面 3 3 a 及び裏面 3 3 b のいずれも、一对の対辺 3 3 c a、3 3 c b（ここでは長辺）と、一对の対辺 3 3 c c、3 3 c d（ここでは短辺）と、を有する略長方形をなし、辺 3 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。

補助シート 3 3 は、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 7（a））から見て、辺 3 3 c b が基準線分 4 2 1 に沿うと共に（図示及び理解を容易にするため、辺 3 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している。）、辺 3 3 c c が辺 4 0 1 c に沿いかつ辺 3 3 c d が辺 4 0 1 d に沿うように小領域 4 3 1 に取り付けられている。そして、補助シート 3 3 は、辺 3 3 c a、3 3 c b が辺 4 0 1 a、4 0 1 b と略同じ長さにされており、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 7（a））から見ると、辺 3 3 c c が辺 4 0 1 c と同一直線上に存すると共に辺 3 3 c d が辺 4 0 1 d と同一直線上に存する。また、補助シート 3 3 は、辺 3 3 c c、3 3 c d が小領域 4 3 1 の幅 W（図 1（a）参照。辺 4 0 1 c、4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法）よりも大きくされているので、辺 4 0 1 a から外方に張り出す部分 3 3 f（図 7（a）中、辺 3 3 c a と辺 4 0 1 a との間の補助シート 3 3 の部分）を有している。

【0043】

かかる第 3 本保持物 3 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分 3 3 f を把持し、辺 3 3 c b を中心に補助シート 3 3 を矢印 V 方向（図 7（b）参照）に回動させることで（第 1 ステップ S 1）、補助シート 3 3 の裏面 3 3 b が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 を辺 3 3 c b が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる（表面 4 0 2 側から見て谷折り）。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ～第 6 ステップ S 6 と同様に第 3 本保持物 3 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0044】

以上説明したように、第 3 本保持物 3 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面（操作面 3 0 9 とは反対の面）に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）と第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）とに分割する少なくとも第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）に取り付けられた補助シート 3 3 と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体 4 0 1 と補助シート 3 3 とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分 4 2 1 の少なくとも一部（ここでは全部）である規定線分部分（ここでは辺 3 3 c b が基準線分 4 2 1 の全部に沿っているので、辺 3 3 c b が沿っている基準線分 4 2 1 の全部）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート 3 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる）よりも、少なくとも第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）における規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 3 3 c b が沿っている全部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（こ

の曲げは、補助シート 3 3 と剥離シート本体 4 0 1 との両方を曲げるので、補助シート 3 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート 3 3 が高めるものである、保護シート保持物である。

【0045】

第 3 本保持物 3 1 においては、補助シート 3 3 が、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 2 3 c b が沿っている全部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺 3 3 c b）を有するものである。

第 3 本保持物 3 1 においては、補助シート 3 3 が、第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）に取り付けられていないものである。

第 3 本保持物 3 1 においては、剥離シート本体 4 0 1 の外縁（辺 4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分 3 3 f）を有し、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート 3 3 のうち、外方に張り出す部分 3 3 f を含む一部が構成する）を有するものである。

第 3 本保持物 3 1 においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分 3 3 f）が、基準線分 4 2 1 に対し垂直方向に向かって剥離シート本体 4 0 1 の外縁（ここでは辺 4 0 1 a）から外方に張り出すものである。

第 3 本保持物 3 1 においては、補助シート 3 3 の一部（外方に張り出す部分 3 3 f を含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0046】

（第 4 実施形態）

図 8 は、第 4 実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第 4 本保持物」という。）4 1 を示す図であり、詳細には、図 8（a）は第 4 本保持物 4 1 を剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 側から見たところを示し（シート複合体 5 0 1 に関しては図 1（a）と同様の方向から見ている）、図 8（b）は図 8（a）の B-B 断面図であり、図 8（c）は図 8（a）の C-C 断面図である。図 8 を参照して、第 4 本保持物 4 1 について説明する。

第 4 本保持物 4 1 は、大まかには、図 1 に示し前述したシート複合体 5 0 1 と、シート複合体 5 0 1 を構成する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 のうち基準線分 4 2 1 を境界線とする小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 4 3 と、を備えてなる。

ここにシート複合体 5 0 1 については、図 1 を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0047】

補助シート 4 3 は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面 4 3 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。

補助シート 4 3 の表面 4 3 a 及び裏面 4 3 b のいずれも、一对の対辺 4 3 c a、4 3 c b（ここでは長辺）と、一对の対辺 4 3 c c、4 3 c d（ここでは短辺）と、を有する略長方形をなし、辺 4 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。

補助シート 4 3 は、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 8（a））から見て、辺 4 3 c b が基準線分 4 2 1 に沿うと共に（図示及び理解を容易にするため、辺 4 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している。）、辺 4 3 c c が辺 4 0 1 c に略平行かつ辺 4 3 c d が辺 4 0 1 d に略平行になるように小領域 4 3 1 に取り付けられている。そして、補助シート 4 3 は、辺 4 3 c a、4 3 c b が辺 4 0 1 a、4 0 1 b よりも長くされており、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 8（a））から見ると、辺 4 3 c c が辺 4 0 1 c よりも外方にはみ出すと共に辺 4 3 c d が辺 4 0 1 d よりも外方にはみ出すように配置されている。また、補助シート 4 3 は、辺 4 3 c c、4 3 c d が小領域 4 3 1 の幅 W（図 1（a）参照。辺 4 0 1 c、4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法）よりも大

きくされているので、辺401aから外方に張り出している。このように補助シート43は、辺401c、辺401aそして辺401dより外方にはみ出しており、このはみ出した外方に張り出す部分43f（図8（a）中、辺43cc、43ca、43cdと辺401c、401a、401dとの間の補助シート43の部分）を有している。

【0048】

かかる第4本保持物41は、図3に示した第1本保持物11の第1ステップS1と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分43fを把持し、辺43cbを中心に補助シート43を矢印V方向（図8（b）参照）に回動させることで（第1ステップS1）、補助シート43の裏面43bが接着された剥離シート本体401の小領域431を辺43cbが沿う基準線分421に沿って折り畳むことができる（表面402側から見て谷折り）。このよ

10

うな剥離シート本体401を基準線分421に沿って折り畳むことで、小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出する。

その後、図4及び図5に示した第1本保持物11の第2ステップS2～第6ステップS6と同様に第4本保持物41の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着することができる。

【0049】

以上説明したように、第4本保持物41は、電子機器601の表示部603に貼着する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面（操作面309とは反対の面）に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域（ここでは小領域431）と第2領域（ここでは大領域432）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは小領域431）に取り付けられた補助シート43と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体401と補助シート43とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分421の少なくとも一部（ここでは全部）である規定線分部分（ここでは辺43cbが基準線分421の全部に沿っている）ので、辺43cbに沿っている基準線分421の全部）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート43を含まない剥離シート本体401のみを曲げる）よりも、少なくとも第1領域（ここでは小領域431）における規定線分部分（基準線分421のうち辺43cbに沿っている全部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート43と剥離シート本体401との両方を曲げるので、補助シート43を含まない剥離シート本体401のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート43が高めるものである、保護シート保持物である。

20

30

【0050】

第4本保持物41においては、補助シート43が、規定線分部分（基準線分421のうち辺43cbに沿っている全部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺43cb）を有するものである。

第4本保持物41においては、補助シート43が、第2領域（ここでは大領域432）に取り付けられていないものである。

40

第4本保持物41においては、剥離シート本体401の外縁（辺401a、401b、401c、401d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分43f）を有し、剥離シート本体401の表面402に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート43のうち、外方に張り出す部分43fを含む一部が構成する）を有するものである。

第4本保持物41においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分43f）が、基準線分421に対し垂直方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401a）から外方に張り出すものである。

第4本保持物41においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分43f）が、基準線分421に対して平行方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺40

50

1 c、4 0 1 d) から外方に張り出すものである。

第 4 本保持物 4 1 においては、補助シート 4 3 の一部（外方に張り出す部分 4 3 f を含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0051】

（第 5 実施形態）

図 9 は、第 5 実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第 5 本保持物」という。）5 1 を示す図であり、詳細には、図 9（a）は第 5 本保持物 5 1 を剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 側から見たところを示し（シート複合体 5 0 1 に関しては図 1（a）と同様の方向から見ている）、図 9（b）は図 9（a）の B-B 断面図であり、図 9（c）は図 9（a）の C-C 断面図である。図 9 を参照して、第 5 本保持物 5 1 について説明する。

10

第 5 本保持物 5 1 は、大まかには、図 1 に示し前述したシート複合体 5 0 1 と、シート複合体 5 0 1 を構成する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 のうち基準線分 4 2 1 を境界線とする小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 5 3 と、を備えてなる。

ここにシート複合体 5 0 1 については、図 1 を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0052】

補助シート 5 3 は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面 5 3 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。

20

補助シート 5 3 の表面 5 3 a 及び裏面 5 3 b のいずれも、一对の対辺 5 3 c a、5 3 c b（ここでは長辺）と、一对の対辺 5 3 c c、5 3 c d（ここでは短辺）と、を有する略長方形をなし、辺 5 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。

補助シート 5 3 は、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 9（a））から見て、辺 5 3 c b が基準線分 4 2 1 に沿うと共に（図示及び理解を容易にするため、辺 5 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している。）、辺 5 3 c c が辺 4 0 1 c に略平行かつ辺 5 3 c d が辺 4 0 1 d に略平行になるように小領域 4 3 1 に取り付けられている。そして、補助シート 5 3 は、辺 5 3 c a、5 3 c b が辺 4 0 1 a、4 0 1 b よりも長くされており、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 9（a））から見ると、辺 5 3 c c が辺 4 0 1 c よりも外方にはみ出すように配置されている（辺 5 3 c d は辺 4 0 1 d よりも辺 4 0 1 c 側に存している。）。また、補助シート 5 3 は、辺 5 3 c c、5 3 c d が小領域 4 3 1 の幅 W（図 1（a）参照。辺 4 0 1 c、4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法）よりも大きくされているので、辺 4 0 1 a から外方に張り出している。このように補助シート 5 3 は、辺 4 0 1 c 及び辺 4 0 1 a より外方にはみ出しており、このはみ出した外方に張り出す部分 5 3 f（図 9（a）中、辺 5 3 c c、5 3 c a と辺 4 0 1 c、4 0 1 a との間の補助シート 5 3 の部分）を有している。

30

【0053】

かかる第 5 本保持物 5 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分 5 3 f を把持し、辺 5 3 c b を中心に補助シート 5 3 を矢印 V 方向（図 9（b）参照）に回動させることで（第 1 ステップ S 1）、補助シート 5 3 の裏面 5 3 b が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 を辺 5 3 c b が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる（表面 4 0 2 側から見て谷折り）。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

40

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ～第 6 ステップ S 6 と同様に第 5 本保持物 5 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0054】

50

以上説明したように、第5本保持物51は、電子機器601の表示部603に貼着する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面（操作面309とは反対の面）に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域（ここでは小領域431）と第2領域（ここでは大領域432）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは小領域431）に取り付けられた補助シート53と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体401と補助シート53とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分421の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分421のうち辺53cbが沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート53を含まない剥離シート本体401のみを曲げる）よりも、少なくとも第1領域（ここでは小領域431）における規定線分部分（基準線分421のうち辺53cbが沿っている一部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート53と剥離シート本体401との両方を曲げるので、補助シート53を含まない剥離シート本体401のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート53が高めるものである、保護シート保持物である。

10

【0055】

第5本保持物51においては、補助シート53が、規定線分部分（基準線分421のうち辺53cbが沿っている一部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺53cb）を有するものである。

20

第5本保持物51においては、補助シート53が、第2領域（ここでは大領域432）に取り付けられていないものである。

第5本保持物51においては、剥離シート本体401の外縁（辺401a、401b、401c、401d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分53f）を有し、剥離シート本体401の表面402に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート53のうち、外方に張り出す部分53fを含む一部が構成する）を有するものである。

第5本保持物51においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分53f）が、基準線分421に対し垂直方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401a）から外方に張り出すものである。

30

第5本保持物51においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分53f）が、基準線分421に対して平行方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401c）から外方に張り出すものである。

第5本保持物51においては、補助シート53の一部（外方に張り出す部分53fを含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0056】

（第6実施形態）

図10は、第6実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第6本保持物」という。）61を示す図であり、詳細には、図10（a）は第6本保持物61を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示し（シート複合体501に関しては図1（a）と同様の方向から見ている）、図10（b）は図10（a）のB-B断面図であり、図10（c）は図10（a）のC-C断面図である。図10を参照して、第6本保持物61について説明する。

40

第6本保持物61は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする小領域431に取り付けられた補助シート63と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0057】

50

補助シート63は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面63bが表面402の小領域431に接着されることで剥離シート本体401の小領域431に取り付けられている。

補助シート63の表面63a及び裏面63bのいずれも、一对の対辺63ca、63cb（ここでは長辺）と、一对の対辺63cc、63cd（ここでは短辺）と、を有する略長方形をなし、辺63caの両端に形成される2の角部が丸められた形状を有している。

補助シート63は、剥離シート本体401の表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図10（a））から見て、辺63cbが基準線分421に沿うと共に（図示及び理解を容易にするため、辺63cbと基準線分421との間を実際よりも広く図示している。）、辺63ccが辺401cに略平行かつ辺63cdが辺401dに略平行になるように小領域431に取り付けられている。そして、補助シート63は、辺63ca、63cbが辺401a、401bよりも長くされており、剥離シート本体401の表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図10（a））から見ると、辺63ccが辺401cよりも外方にはみ出すと共に辺63cdが辺401dよりも外方にはみ出すように配置されている。また、補助シート63は、辺63cc、63cdが小領域431の幅W（図1（a）参照。辺401c、401dに平行な小領域431の寸法）と略同じにされているので、辺63caは辺401aと略重なっている。このように補助シート63は、辺401cそして辺401dより外方にはみ出しており、このはみ出した外方に張り出す部分63f（図10（a）中、辺63ccと辺401cとの間の部分と、辺63cdと辺401dとの間の部分と、の2つの部分からなる）を有している。

【0058】

かかる第6本保持物61は、図3に示した第1本保持物11の第1ステップS1と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分63fを把持し、辺63cbを中心に補助シート63を矢印V方向（図10（b）参照）に回動させることで（第1ステップS1）、補助シート63の裏面63bが接着された剥離シート本体401の小領域431を辺63cbが沿う基準線分421に沿って折り畳むことができる（表面402側から見て谷折り）。このような剥離シート本体401を基準線分421に沿って折り畳むことで、小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出する。

その後、図4及び図5に示した第1本保持物11の第2ステップS2～第6ステップS6と同様に第6本保持物61の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着することができる。

【0059】

以上説明したように、第6本保持物61は、電子機器601の表示部603に貼着する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面（操作面309とは反対の面）に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域（ここでは小領域431）と第2領域（ここでは大領域432）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは小領域431）に取り付けられた補助シート63と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体401と補助シート63とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分421の少なくとも一部（ここでは全部）である規定線分部分（ここでは辺63cbが基準線分421の全部に沿っているので、辺63cbに沿っている基準線分421の全部）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート63を含まない剥離シート本体401のみを曲げる）よりも、少なくとも第1領域（ここでは小領域431）における規定線分部分（基準線分421のうち辺63cbに沿っている全部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート63と剥離シート本体401との両方を曲げるので、補助シート63を含まない剥離シート本体401のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シ

ート 6 3 が高めるものである、保護シート保持物である。

【0060】

第 6 本保持物 6 1 においては、補助シート 6 3 が、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 6 3 c b が沿っている全部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺 6 3 c b）を有するものである。

第 6 本保持物 6 1 においては、補助シート 6 3 が、第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）に取り付けられていないものである。

第 6 本保持物 6 1 においては、剥離シート本体 4 0 1 の外縁（辺 4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分 6 3 f）を有し、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート 6 3 のうち、外方に張り出す部分 6 3 f を含む一部が構成する）を有するものである。

10

第 6 本保持物 6 1 においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分 6 3 f）が、基準線分 4 2 1 に対して平行方向に向かって剥離シート本体 4 0 1 の外縁（ここでは辺 4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出すものである。

第 6 本保持物 6 1 においては、補助シート 6 3 の一部（外方に張り出す部分 6 3 f を含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0061】

（第 7 実施形態）

図 1 1 は、第 7 実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第 7 本保持物」という。）7 1 を示す図であり、詳細には、図 1 1（a）は第 7 本保持物 7 1 を剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 側から見たところを示し（シート複合体 5 0 1 に関しては図 1（a）と同様の方向から見ている）、図 1 1（b）は図 1 1（a）の B-B 断面図であり、図 1 1（c）は図 1 1（a）の C-C 断面図である。図 1 1 を参照して、第 7 本保持物 7 1 について説明する。

20

第 7 本保持物 7 1 は、大まかには、図 1 に示し前述したシート複合体 5 0 1 と、シート複合体 5 0 1 を構成する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 のうち基準線分 4 2 1 を境界線とする小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 7 3 と、を備えてなる。

ここにシート複合体 5 0 1 については、図 1 を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

30

【0062】

補助シート 7 3 は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面 7 3 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。

補助シート 7 3 の表面 7 3 a 及び裏面 7 3 b のいずれも、一对の対辺 7 3 c a、7 3 c b（ここでは長辺）と、一对の対辺 7 3 c c、7 3 c d（ここでは短辺）と、を有する略長方形をなし、辺 7 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。

補助シート 7 3 は、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 1（a））から見て、辺 7 3 c b が基準線分 4 2 1 に沿うと共に（図示及び理解を容易にするため、辺 7 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している。）、辺 7 3 c c が辺 4 0 1 c に略平行かつ辺 7 3 c d が辺 4 0 1 d に略平行になるように小領域 4 3 1 に取り付けられている。そして、補助シート 7 3 は、辺 7 3 c a、7 3 c b が辺 4 0 1 a、4 0 1 b よりも長くされており、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 1（a））から見ると、辺 7 3 c c が辺 4 0 1 c よりも外方にはみ出すように配置されている（辺 7 3 c d は辺 4 0 1 d よりも辺 4 0 1 c 側に存している。）。また、補助シート 7 3 は、辺 7 3 c c、7 3 c d が小領域 4 3 1 の幅 W（図 1（a）参照。辺 4 0 1 c、4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法）と略同じにされているので、辺 7 3 c a は辺 4 0 1 a と略重なっている。このように補助シート 7 3 は、辺 4 0 1 c より外方にはみ出しており、このはみ出した外方に張り

40

50

出す部分 7 3 f (図 1 1 (a) 中、辺 7 3 c c と辺 4 0 1 c との間の部分) を有している。

【0063】

かかる第 7 本保持物 7 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分 7 3 f を把持し、辺 7 3 c b を中心に補助シート 7 3 を矢印 V 方向 (図 1 1 (b) 参照) に回動させることで (第 1 ステップ S 1)、補助シート 7 3 の裏面 7 3 b が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 を辺 7 3 c b が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる (表面 4 0 2 側から見て谷折り)。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

10

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ~ 第 6 ステップ S 6 と同様に第 7 本保持物 7 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0064】

以上説明したように、第 7 本保持物 7 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面 (操作面 3 0 9 とは反対の面) に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部 (ここでは全部) が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) と第 2 領域 (ここでは大領域 4 3 2) とに分割する少なくとも第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) に取り付けられた補助シート 7 3 と、を有してなる剥離シート (剥離シート本体 4 0 1 と補助シート 7 3 とを含んで剥離シートは構成される。) と、を備えてなり、基準線分 4 2 1 の少なくとも一部である規定線分部分 (ここでは基準線分 4 2 1 のうち辺 7 3 c b が沿っている部分) に沿った剥離シートの曲げ強度 (この曲げは、補助シート 7 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる) よりも、少なくとも第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) における規定線分部分 (基準線分 4 2 1 のうち辺 7 3 c b が沿っている一部) に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度 (この曲げは、補助シート 7 3 と剥離シート本体 4 0 1 との両方を曲げるので、補助シート 7 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる場合に比し大きな力を要する) を補助シート 7 3 が高めるものである、保護シート保持物である。

20

30

【0065】

第 7 本保持物 7 1 においては、補助シート 7 3 が、規定線分部分 (基準線分 4 2 1 のうち辺 7 3 c b が沿っている一部) に沿った縁部である規定縁部 (ここでは辺 7 3 c b) を有するものである。

第 7 本保持物 7 1 においては、補助シート 7 3 が、第 2 領域 (ここでは大領域 4 3 2) に取り付けられていないものである。

第 7 本保持物 7 1 においては、剥離シート本体 4 0 1 の外縁 (辺 4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d) から外方に張り出す把持部分 (ここでは外方に張り出す部分 7 3 f) を有し、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に取り付けられた把持シート (ここでは補助シート 7 3 のうち、外方に張り出す部分 7 3 f を含む一部が構成する) を有するものである。

40

第 7 本保持物 7 1 においては、把持部分 (ここでは外方に張り出す部分 7 3 f) が、基準線分 4 2 1 に対して平行方向に向かって剥離シート本体 4 0 1 の外縁 (ここでは辺 4 0 1 c) から外方に張り出すものである。

第 7 本保持物 7 1 においては、補助シート 7 3 の一部 (外方に張り出す部分 7 3 f を含む一部) が把持シートを構成するものである。

【0066】

(第 8 実施形態)

図 1 2 は、第 8 実施形態の本考案の保護シート保持物 (以下、「第 8 本保持物」という

50

。) 8 1 を示す図であり、詳細には、図 1 2 (a) は第 8 本保持物 8 1 を剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 側から見たところを示し (シート複合体 5 0 1 に関しては図 1 (a) と同様の方向から見ている) 、図 1 2 (b) は図 1 2 (a) の B - B 断面図であり、図 1 2 (c) は図 1 2 (a) の C - C 断面図である。図 1 2 を参照して、第 8 本保持物 8 1 について説明する。

第 8 本保持物 8 1 は、大まかには、図 1 に示し前述したシート複合体 5 0 1 と、シート複合体 5 0 1 を構成する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 のうち基準線分 4 2 1 を境界線とする小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 8 3 と、を備えてなる。

ここにシート複合体 5 0 1 については、図 1 を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【 0 0 6 7 】

補助シート 8 3 は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており (図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。) 、裏面 8 3 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。

補助シート 8 3 の表面 8 3 a 及び裏面 8 3 b のいずれも、一对の対辺 8 3 c a 、 8 3 c b (ここでは長辺) と、一对の対辺 8 3 c c 、 8 3 c d (ここでは短辺) と、を有する略長方形をなし、辺 8 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。

補助シート 8 3 は、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向 (表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 2 (a)) から見て、辺 8 3 c b が基準線分 4 2 1 に沿うと共に (図示及び理解を容易にするため、辺 8 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している。) 、辺 8 3 c c が辺 4 0 1 c に略平行かつ辺 8 3 c d が辺 4 0 1 d に略平行になるように小領域 4 3 1 に取り付けられている。そして、補助シート 8 3 は、辺 8 3 c a 、 8 3 c b が辺 4 0 1 a 、 4 0 1 b よりも長くされており、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向 (表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 2 (a)) から見ると、辺 8 3 c c が辺 4 0 1 c よりも外方にはみ出すように配置されている (辺 8 3 c d は辺 4 0 1 d よりも辺 4 0 1 c 側に存している。) 。また、補助シート 8 3 は、辺 8 3 c c 、 8 3 c d が小領域 4 3 1 の幅 W (図 1 (a) 参照。辺 4 0 1 c 、 4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法) よりも小さくされているので、辺 8 3 c a は辺 4 0 1 a よりも基準線分 4 2 1 側に存している。このように補助シート 8 3 は、辺 4 0 1 c より外方にはみ出しており、このはみ出した外方に張り出す部分 8 3 f (図 1 2 (a) 中、辺 8 3 c c と辺 4 0 1 c との間の部分) を有している。

【 0 0 6 8 】

かかる第 8 本保持物 8 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分 8 3 f を把持し、辺 8 3 c b を中心に補助シート 8 3 を矢印 V 方向 (図 1 2 (b) 参照) に回動させることで (第 1 ステップ S 1) 、補助シート 8 3 の裏面 8 3 b が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 を辺 8 3 c b が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる (表面 4 0 2 側から見て谷折り) 。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ~ 第 6 ステップ S 6 と同様に第 8 本保持物 8 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【 0 0 6 9 】

以上説明したように、第 8 本保持物 8 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面 (操作面 3 0 9 とは反対の面) に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部 (ここでは全部) が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体

10

20

30

40

50

401の表面402を第1領域（ここでは小領域431）と第2領域（ここでは大領域432）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは小領域431）に取り付けられた補助シート83と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体401と補助シート83とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分421の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分421のうち辺83cbが沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート83を含まない剥離シート本体401のみを曲げる）よりも、少なくとも第1領域（ここでは小領域431）における規定線分部分（基準線分421のうち辺83cbが沿っている一部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート83と剥離シート本体401との両方を曲げるので、補助シート83を含まない剥離シート本体401のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート83が高めるものである、保護シート保持物である。

10

【0070】

第8本保持物81においては、補助シート83が、規定線分部分（基準線分421のうち辺83cbが沿っている一部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺83cb）を有するものである。

第8本保持物81においては、補助シート83が、第2領域（ここでは大領域432）に取り付けられていないものである。

第8本保持物81においては、剥離シート本体401の外縁（辺401a、401b、401c、401d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分83f）を有し、剥離シート本体401の表面402に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート83のうち、外方に張り出す部分83fを含む一部が構成する）を有するものである。

20

第8本保持物81においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分83f）が、基準線分421に対して平行方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401c）から外方に張り出すものである。

第8本保持物81においては、補助シート83の一部（外方に張り出す部分83fを含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0071】

（第9実施形態）

図13は、第9実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第9本保持物」という。）91を示す図であり、詳細には、図13（a）は第9本保持物91を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示し（シート複合体501に関しては図1（a）と同様の方向から見ている）、図13（b）は図13（a）のD-D断面図であり、図13（c）は図13（a）のC-C断面図である。図13を参照して、第9本保持物91について説明する。

30

第9本保持物91は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする小領域431に取り付けられた補助シート93と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

40

【0072】

補助シート93は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面93bが表面402の小領域431に接着されることで剥離シート本体401の小領域431に取り付けられている。

補助シート93は、表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図13（a））から見て、基準線分421に沿った横短冊状部分93pと、横短冊状部分93pに対して略直角方向（基準線分421に対して略垂直方向）に延びる縦短冊状部分93qと、を一体に有してなり、全体ではアルファベットの「L」の字に似た形状を有している。横短冊状部分93pは基準線分421に沿った辺93cbを有し（図示及び理解を容易に

50

するため、辺 9 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している）、縦短冊状部分 9 3 q は辺 4 0 1 c に沿った辺 9 3 c c を有しており、辺 9 3 c b と辺 9 3 c c とは略直角に交わっている。縦短冊状部分 9 3 q は、基端側が横短冊状部分 9 3 p に連なると共に先端側が辺 4 0 1 a から外方に張り出している。そして、補助シート 9 3 の横短冊状部分 9 3 p（辺 9 3 c b）は辺 4 0 1 a、4 0 1 b よりも短くされており横短冊状部分 9 3 p は辺 4 0 1 c、4 0 1 d の間に取り付けられており、縦短冊状部分 9 3 q（辺 9 3 c c）は小領域 4 3 1 の幅 W（図 1（a）参照。辺 4 0 1 c、4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法）よりも大きくされているので、辺 4 0 1 a から外方に張り出す部分 9 3 f を有している。

【0073】

かかる第 9 本保持物 9 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分 9 3 f を把持し、辺 9 3 c b を中心に補助シート 9 3 を矢印 V 方向（図 1 3（b）参照）に回動させることで（第 1 ステップ S 1）、補助シート 9 3 の裏面 9 3 b が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 を辺 9 3 c b が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる（表面 4 0 2 側から見て谷折り）。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ～第 6 ステップ S 6 と同様に第 9 本保持物 9 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0074】

以上説明したように、第 9 本保持物 9 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面（操作面 3 0 9 とは反対の面）に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）と第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）とに分割する少なくとも第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）に取り付けられた補助シート 9 3 と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体 4 0 1 と補助シート 9 3 とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分 4 2 1 の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分 4 2 1 のうち辺 9 3 c b が沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート 9 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる）よりも、少なくとも第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）における規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 9 3 c b が沿っている一部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート 9 3 と剥離シート本体 4 0 1 との両方を曲げるので、補助シート 9 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート 9 3 が高めるものである、保護シート保持物である。

【0075】

第 9 本保持物 9 1 においては、補助シート 9 3 が、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 9 3 c b が沿っている一部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺 9 3 c b）を有するものである。

第 9 本保持物 9 1 においては、補助シート 9 3 が、第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）に取り付けられていないものである。

第 9 本保持物 9 1 においては、剥離シート本体 4 0 1 の外縁（辺 4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分 9 3 f）を有し、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート 9 3 のうち、外方に張り出す部分 9 3 f を含む一部が構成する）を有するものである。

第 9 本保持物 9 1 においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分 9 3 f）が、基

10

20

30

40

50

準線分421に対して垂直方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401a）から外方に張り出すものである。

第9本保持物91においては、補助シート93の一部（外方に張り出す部分93fを含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0076】

（第10実施形態）

図14は、第10実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第10本保持物」という。）101を示す図であり、詳細には、図14（a）は第10本保持物101を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示し（シート複合体501に関しては図1（a）と同様の方向から見ている）、図14（b）は図14（a）のB-B断面図であり、図14（c）は図14（a）のC-C断面図である。図14を参照して、第10本保持物101について説明する。

第10本保持物101は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする小領域431に取り付けられた補助シート103と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0077】

補助シート103は、3つの短冊状の単位シート103a、103b、103cによって構成されている。単位シート103a、103b、103cいずれも透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面103ab、103bb、103cbが表面402の小領域431に接着されることで剥離シート本体401の小領域431に取り付けられている。単位シート103a、103b、103cいずれも形状、厚み及び材質が同じものであり、いずれの主表面も長形状をなしている。

そして、剥離シート本体401の表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図14（a））から見て、単位シート103a、103b、103cの主表面がなす長方形の短辺103sが基準線分421に略平行になると共に（図示及び理解を容易にするため、短辺103sと基準線分421との間を実際よりも広く図示している。）、基準線分421に沿って単位シート103a、103b、103cが略等間隔に取り付けられている。そして、単位シート103a、103b、103cの長辺は、小領域431の幅W（図1（a）参照。辺401c、401dに平行な小領域431の寸法）よりも大きくされているので、単位シート103a、103b、103cいずれも辺401aから外方に張り出す部分103fを有している。

【0078】

かかる第10本保持物101は、図3に示した第1本保持物11の第1ステップS1と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分103fを把持し（把持し作業しやすいように、単位シート103a、103b、103cの1又は2以上の単位シートの張り出す部分103fを適宜選択して把持すればよい。）、単位シート103a、103b、103cの短辺103sを中心に単位シート103a、103b、103cを矢印V方向（図14（b）参照）に回動させることで（第1ステップS1）、単位シート103a、103b、103cの裏面103ab、103bb、103cbが接着された剥離シート本体401の小領域431を短辺103sが沿う基準線分421に沿って折り畳むことができる（表面402側から見て谷折り）。このような剥離シート本体401を基準線分421に沿って折り畳むことで、小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出する。

その後、図4及び図5に示した第1本保持物11の第2ステップS2～第6ステップS6と同様に第10本保持物101の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着することができる。

【0079】

以上説明したように、第10本保持物101は、電子機器601の表示部603に貼着

する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面（操作面309とは反対の面）に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域（ここでは小領域431）と第2領域（ここでは大領域432）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは小領域431）に取り付けられた補助シート103（単位シート103a、103b、103cにより構成される）と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体401と補助シート103とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分421の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分421のうち、単位シート103a、103b、103cの3つの短辺103sが沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート103を含まない剥離シート本体401のみを曲げる）よりも、少なくとも第1領域（ここでは小領域431）における規定線分部分（基準線分421のうち短辺103sが沿っている一部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート103と剥離シート本体401との両方を曲げるので、補助シート103を含まない剥離シート本体401のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート103が高めるものである、保護シート保持物である。

10

【0080】

第10本保持物101においては、補助シート103が、規定線分部分（基準線分421のうち短辺103sが沿っている一部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは短辺103s）を有するものである。

20

第10本保持物101においては、補助シート103が、第2領域（ここでは大領域432）に取り付けられていないものである。

第10本保持物101においては、剥離シート本体401の外縁（辺401a、401b、401c、401d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分103f）を有し、剥離シート本体401の表面402に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート103のうち、外方に張り出す部分103fを含む一部が構成する）を有するものである。

第10本保持物101においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分103f）が、基準線分421に対して垂直方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401a）から外方に張り出すものである。

30

第10本保持物101においては、補助シート103の一部（外方に張り出す部分103fを含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0081】

（第11実施形態）

図15は、第11実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第11本保持物」という。）111を示す図であり、詳細には、図15（a）は第11本保持物111を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示し（シート複合体501に関しては図1（a）と同様の方向から見ている）、図15（b）は図15（a）のD-D断面図であり、図15（c）は図15（a）のC-C断面図である。図15を参照して、第11本保持物111について説明する。

40

第11本保持物111は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする小領域431に取り付けられた補助シート113及び把持シート114と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0082】

補助シート113は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図

50

示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。) 、裏面 1 1 3 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。補助シート 1 1 3 は、表面 4 0 2 に垂直方向 (表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 5 (a)) から見て、基準線分 4 2 1 に沿った細長い短冊 (細長い長方形) の形状を有しており、詳細には、基準線分 4 2 1 に沿った辺 1 1 3 c b を有している (図示及び理解を容易にするため、辺 1 1 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している) 。補助シート 1 1 3 の長手方向 (基準線分 4 2 1 に沿った寸法) は辺 4 0 1 a 、4 0 1 b よりも短くされており補助シート 1 1 3 は辺 4 0 1 c 、4 0 1 d の間に取り付けられている。

把持シート 1 1 4 は、補助シート 1 1 3 と同様の透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており (図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。) 、裏面 1 1 4 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。把持シート 1 1 4 は、表面 4 0 2 に垂直方向 (表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 5 (a)) から見て、短辺が基準線分 4 2 1 と略平行になるように基端側が表面 4 0 2 に取り付けられた長形状の主表面を有しており、長辺方向の先端側が辺 4 0 1 a から外方に張り出している。このため把持シート 1 1 4 は、辺 4 0 1 a から外方に張り出す部分 1 1 4 f を有している。

【0083】

かかる第 1 1 本保持物 1 1 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分 1 1 4 f を把持し把持シート 1 1 4 に力を加えることで、把持シート 1 1 4 の裏面 1 1 4 b が接着された剥離シート本体 4 0 1 を経て補助シート 1 1 3 に力を加え、辺 1 1 3 c b を中心に補助シート 1 1 3 を矢印 V 方向 (図 1 5 (b) 参照) に回動させることで (第 1 ステップ S 1) 、補助シート 1 1 3 の裏面 1 1 3 b が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 を辺 1 1 3 c b が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる (表面 4 0 2 側から見て谷折り) 。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ~ 第 6 ステップ S 6 と同様に第 1 1 本保持物 1 1 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0084】

以上説明したように、第 1 1 本保持物 1 1 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面 (操作面 3 0 9 とは反対の面) に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部 (ここでは全部) が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) と第 2 領域 (ここでは大領域 4 3 2) とに分割する少なくとも第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) に取り付けられた補助シート 1 1 3 と、を有してなる剥離シート (剥離シート本体 4 0 1 と補助シート 1 1 3 とを含んで剥離シートは構成される。) と、を備えてなり、基準線分 4 2 1 の少なくとも一部である規定線分部分 (ここでは基準線分 4 2 1 のうち、補助シート 1 1 3 の辺 1 1 3 c b が沿っている部分) に沿った剥離シートの曲げ強度 (この曲げは、補助シート 1 1 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる) よりも、少なくとも第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) における規定線分部分 (基準線分 4 2 1 のうち辺 1 1 3 c b が沿っている一部) に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度 (この曲げは、補助シート 1 1 3 と剥離シート本体 4 0 1 との両方を曲げるので、補助シート 1 1 3 を含まない剥離シート本体 4 0 1 のみを曲げる場合に比し大きな力を要する) を補助シート 1 1 3 が高めるものである、保護シート保持物である。

【0085】

第 1 1 本保持物 1 1 1 においては、補助シート 1 1 3 が、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうち辺 1 1 3 c b が沿っている一部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺 1 1 3 c b）を有するものである。

第 1 1 本保持物 1 1 1 においては、補助シート 1 1 3 が、第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）に取り付けられていないものである。

第 1 1 本保持物 1 1 1 においては、剥離シート本体 4 0 1 の外縁（辺 4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分 1 1 4 f）を有し、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に取り付けられた把持シート 1 1 4 を有するものである。

第 1 1 本保持物 1 1 1 においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分 1 1 4 f）が、基準線分 4 2 1 に対して垂直方向に向かって剥離シート本体 4 0 1 の外縁（ここでは辺 4 0 1 a）から外方に張り出すものである。

【0086】

（第 1 2 実施形態）

図 1 6 は、第 1 2 実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第 1 2 本保持物」という。）1 2 1 を示す図であり、詳細には、図 1 6（a）は第 1 2 本保持物 1 2 1 を剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 側から見たところを示し（シート複合体 5 0 1 に関しては図 1（a）と同様の方向から見ている）、図 1 6（b）は図 1 6（a）の B-B 断面図であり、図 1 6（c）は図 1 6（a）の C-C 断面図である。図 1 6 を参照して、第 1 2 本保持物 1 2 1 について説明する。

第 1 2 本保持物 1 2 1 は、大まかには、図 1 に示し前述したシート複合体 5 0 1 と、シート複合体 5 0 1 を構成する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 のうち基準線分 4 2 1 を境界線とする小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 1 2 3 及び把持シート 1 2 4 a、1 2 4 b と、を備えてなる。

ここにシート複合体 5 0 1 については、図 1 を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0087】

補助シート 1 2 3 は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面 1 2 3 b が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。補助シート 1 2 3 は、表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 6（a））から見て、基準線分 4 2 1 に沿った細長い短冊（細長い長方形）の形状を有しており、詳細には、基準線分 4 2 1 に沿った辺 1 2 3 c b を有している（図示及び理解を容易にするため、辺 1 2 3 c b と基準線分 4 2 1 との間を実際よりも広く図示している）。補助シート 1 2 3 の長手方向（基準線分 4 2 1 に沿った寸法）は辺 4 0 1 a、4 0 1 b よりも短くされており補助シート 1 2 3 は辺 4 0 1 c、4 0 1 d の間に取り付けられている。

把持シート 1 2 4 a、1 2 4 b は、補助シート 1 2 3 と同様の透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面が表面 4 0 2 の小領域 4 3 1 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 に取り付けられている。把持シート 1 2 4 a、1 2 4 b いずれも形状、厚み及び材質が同じものであり、いずれの主表面も長方形形状をなしている。把持シート 1 2 4 a、1 2 4 b は、表面 4 0 2 に垂直方向（表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 6（a））から見て、短辺が基準線分 4 2 1 と略平行になるように基端側が表面 4 0 2 に取り付けられた長方形形状の主表面を有しており、長辺方向の先端側が辺 4 0 1 a から外方に張り出している。このため把持シート 1 2 4 a、1 2 4 b いずれも辺 4 0 1 a から外方に張り出す部分 1 2 4 f を有している。

【0088】

かかる第 1 2 本保持物 1 2 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分 1 2 4 f を把持し把持シート 1 2 4 a、1 2 4 b

に力を加えることで、把持シート124a、124bの裏面が接着された剥離シート本体401を経て補助シート123に力を加え、辺123cbを中心に補助シート123を矢印V方向（図16（b）参照）に回動させることで（第1ステップS1）、補助シート123の裏面123bが接着された剥離シート本体401の小領域431を辺123cbが沿う基準線分421に沿って折り畳むことができる（表面402側から見て谷折り）。このように剥離シート本体401を基準線分421に沿って折り畳むことで、小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出する。

その後、図4及び図5に示した第1本保持物11の第2ステップS2～第6ステップS6と同様に第12本保持物121の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着することができる。

10

【0089】

以上説明したように、第12本保持物121は、電子機器601の表示部603に貼着する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面（操作面309とは反対の面）に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域（ここでは小領域431）と第2領域（ここでは大領域432）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは小領域431）に取り付けられた補助シート123と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体401と補助シート123とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分421の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分421のうち、補助シート123の辺123cbが沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート123を含まない剥離シート本体401のみを曲げる）よりも、少なくとも第1領域（ここでは小領域431）における規定線分部分（基準線分421のうち辺123cbが沿っている一部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シート123と剥離シート本体401との両方を曲げるので、補助シート123を含まない剥離シート本体401のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート123が高めるものである、保護シート保持物である。

20

【0090】

第12本保持物121においては、補助シート123が、規定線分部分（基準線分421のうち辺123cbが沿っている一部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺123cb）を有するものである。

30

第12本保持物121においては、補助シート123が、第2領域（ここでは大領域432）に取り付けられていないものである。

第12本保持物121においては、剥離シート本体401の外縁（辺401a、401b、401c、401d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分124f）を有し、剥離シート本体401の表面402に取り付けられた把持シート124a、124bを有するものである。

第12本保持物121においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分124f）が、基準線分421に対して垂直方向に向かって剥離シート本体401の外縁（ここでは辺401a）から外方に張り出すものである。

40

【0091】

（第13実施形態）

図17は、第13実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第13本保持物」という。）131を示す図であり、詳細には、図17（a）は第13本保持物131を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示し（シート複合体501に関しては図1（a）と同様の方向から見ている）、図17（b）は図17（a）のD-D断面図であり、図17（c）は図17（a）のC-C断面図である。図17を参照して、第13本保持物131について説明する。

50

第13本保持物131は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする大領域432に取り付けられた第1補助シート133と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402のうち基準線分421を境界線とする小領域431に取り付けられた第2補助シート134と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0092】

第1補助シート133は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面133bが表面402の大領域432に接着されることで剥離シート本体401に取り付けられている。第1補助シート133は、表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図17（a））から見て、基準線分421に沿った細長い短冊（細長い長方形）の形状を有しており、詳細には、基準線分421に沿った辺133cbを有している（図示及び理解を容易にするため、辺133cbと基準線分421との間を実際よりも広く図示している）。第1補助シート133の長手方向（基準線分421に沿った寸法）は辺401a、401bよりも短くされており第1補助シート133は辺401c、401dの間に取り付けられている。

第2補助シート134は、第1補助シート133と同様の透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面134bが表面402の小領域431に接着されることで剥離シート本体401に取り付けられている。第2補助シート134は、表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図17（a））から見て、短辺134sが基準線分421と略平行になるように基端側が表面402に取り付けられた長形状の主表面を有しており、長辺方向の先端側が辺401aから外方に張り出している。このため第2補助シート134は、辺401aから外方に張り出す部分134fを有している。

【0093】

かかる第13本保持物131は、図3に示した第1本保持物11の第1ステップS1と同様、貼着者が指で外方に張り出す部分134fを把持し第2補助シート134に力を加えることで、第2補助シート134の裏面134bが接着された剥離シート本体401の小領域431を貼着面303から剥がす方向に力を加えることができる。このとき第1補助シート133に貼着面303方向に力を加える（第1補助シート133に取り付けられた剥離シート本体401が貼着面303から剥がれないように押さえる）ことで、辺133cbを中心に剥離シート本体401を矢印V方向に回動させることで（第1ステップS1）、第2補助シート134の裏面134bが接着された剥離シート本体401の小領域431を辺133cbが沿う基準線分421に沿って折り畳むことができる（表面402側から見て谷折り）。このように剥離シート本体401を基準線分421に沿って折り畳むことで、小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出する。

その後、図4及び図5に示した第1本保持物11の第2ステップS2～第6ステップS6と同様に第13本保持物131の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着することができる。

【0094】

以上説明したように、第13本保持物131は、電子機器601の表示部603に貼着する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面（操作面309とは反対の面）に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域（ここでは大領域432）と第2領域（ここでは小領域431）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは第1領域（ここでは大領域432

）と第２領域（ここでは小領域４３１）との両領域）に取り付けられた補助シート（ここでは第１補助シート１３３と第２補助シート１３４とを含んでなる）と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体４０１と補助シート（第１補助シート１３３と第２補助シート１３４）とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分４２１の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分４２１のうち、第１補助シート１３３の辺１３３ｃｂが沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シートを含まない剥離シート本体４０１のみを曲げる）よりも、少なくとも第１領域（ここでは第１領域（ここでは大領域４３２）と第２領域（ここでは小領域４３１）との両領域）における規定線分部分（基準線分４２１のうち辺１３３ｃｂが沿っている一部）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、補助シートと剥離シート本体４０１との両方を曲げるので、補助シートを含まない剥離シート本体４０１のみを曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シートが高めるものである、保護シート保持物である。

10

【００９５】

第１３本保持物１３１においては、補助シート（第１補助シート１３３、第２補助シート１３４）が、規定線分部分（基準線分４２１のうち辺１３３ｃｂが沿っている一部）に沿った縁部である規定縁部（ここでは辺１３３ｃｂ）を有する。

第１３本保持物１３１においては、補助シート（第１補助シート１３３、第２補助シート１３４）が、第１領域（ここでは大領域４３２）にて規定縁部（ここでは辺１３３ｃｂ）が規定線分部分（基準線分４２１のうち辺１３３ｃｂが沿っている一部）に沿う第１部分（第１補助シート１３３）と、第２領域（ここでは小領域４３１）にて規定縁部（ここでは第２補助シート１３４の短辺１３４ｓ）が規定線分部分に沿う第２部分（第２補助シート１３４）と、を含んでなり、第１部分（第１補助シート１３３）と第２部分（第２補助シート１３４）とが規定線分部分に沿った分断部Ｋを挟んで取り付けられるものである。

20

第１３本保持物１３１においては、剥離シート本体４０１の外縁（辺４０１ａ、４０１ｂ、４０１ｃ、４０１ｄ）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分１３４ｆ）を有し、剥離シート本体４０１の表面４０２に取り付けられた把持シート（ここでは第２補助シート１３４のうち、外方に張り出す部分１３４ｆを含む一部が構成する）を有するものである。

第１３本保持物１３１においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分１３４ｆ）が、基準線分４２１に対して垂直方向に向かって剥離シート本体４０１の外縁（ここでは辺４０１ａ）から外方に張り出すものである。

30

第１３本保持物１３１においては、補助シート（第１補助シート１３３、第２補助シート１３４）の一部（外方に張り出す部分１３４ｆを含む第２補助シート１３４の一部）が把持シートを構成するものである。

【００９６】

（第１４実施形態）

図１８は、第１４実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第１４本保持物」という。）１４１を示す図であり、詳細には、図１８（ａ）は第１４本保持物１４１を剥離シート本体４０１の表面４０２側から見たところを示し（シート複合体５０１に関しては図１（ａ）と同様の方向から見ている）、図１８（ｂ）は図１８（ａ）のＢ－Ｂ断面図であり、図１８（ｃ）は図１８（ａ）のＣ－Ｃ断面図である。図１８を参照して、第１４本保持物１４１について説明する。

40

第１４本保持物１４１は、大まかには、図１に示し前述したシート複合体５０１と、シート複合体５０１を構成する剥離シート本体４０１の表面４０２に取り付けられた補助シート１４３と、を備えてなる。

ここにシート複合体５０１については、図１を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【００９７】

補助シート１４３は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図

50

示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。) 、裏面 1 4 3 b が表面 4 0 2 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 に取り付けられている。

補助シート 1 4 3 の表面 1 4 3 a 及び裏面 1 4 3 b のいずれも、一対の対辺 1 4 3 c a 、1 4 3 c b と、一対の対辺 1 4 3 c c 、1 4 3 c d と、を有する略長方形をなし、辺 1 4 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。そして、補助シート 1 4 3 には、辺 1 4 3 c a 、1 4 3 c b に略平行に細長くスリット 1 4 3 h (表面 1 4 3 a と裏面 1 4 3 b との間を貫通) が形成されている (図示及び理解を容易にするため、スリット 1 4 3 h の幅を実際よりも広く図示している。) 。

補助シート 1 4 3 は、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向 (表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 1 8 (a)) から見て、基準線分 4 2 1 (図示及び理解を容易にするため、スリット 1 4 3 h の近傍のみ描いている) に沿ってスリット 1 4 3 h が存在し (スリット 1 4 3 h の長手方向が基準線分 4 2 1 に略平行になっている) 、辺 1 4 3 c c が辺 4 0 1 c に略平行かつ辺 1 4 3 c d が辺 4 0 1 d に略平行になるように表面 4 0 2 に取り付けられている。このため補助シート 1 4 3 は、スリット 1 4 3 h を境に一方 (図 1 8 (a) 中、上方) は小領域 4 3 1 に取り付けられると共に他方 (図 1 8 (a) 中、下方) は大領域 4 3 2 に取り付けられている。補助シート 1 4 3 は、辺 1 4 3 c a 、1 4 3 c b が辺 4 0 1 a 、4 0 1 b よりも短くされており辺 1 4 3 c c が辺 4 0 1 c よりも辺 4 0 1 d 側に存すると共に辺 1 4 3 c d が辺 4 0 1 d よりも辺 4 0 1 c 側に存する。また、補助シート 1 4 3 は、スリット 1 4 3 h と辺 1 4 3 c a との間の距離が、小領域 4 3 1 の幅 W (図 1 (a) 参照。辺 4 0 1 c 、4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法) よりも大きくされているので、辺 4 0 1 a から外方に張り出す部分 1 4 3 f (図 1 8 (a) 中、辺 1 4 3 c a と辺 4 0 1 a との間の補助シート 1 4 3 の部分) を有している。

【0098】

かかる第 1 4 本保持物 1 4 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、大領域 4 3 2 に取り付けられた補助シート 1 4 3 の部分 (図 1 8 (a) 中、下方側) を押さえつつ、貼着者が指で外方に張り出す部分 1 4 3 f を把持し、小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 1 4 3 の部分 (図 1 8 (a) 中、上方側) を基準線分 4 2 1 を中心に矢印 V 方向 (図 1 8 (b) 参照) に回転させることで (第 1 ステップ S 1) 、小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 1 4 3 の部分 (図 1 8 (a) 中、上方側) が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 をスリット 1 4 3 h が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる (表面 4 0 2 側から見て谷折り) 。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ~ 第 6 ステップ S 6 と同様に第 1 4 本保持物 1 4 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0099】

以上説明したように、第 1 4 本保持物 1 4 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面 (操作面 3 0 9 とは反対の面) に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部 (ここでは全部) が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) と第 2 領域 (ここでは大領域 4 3 2) とに分割する少なくとも第 1 領域 (ここでは第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1)) と第 2 領域 (ここでは大領域 4 3 2) との両領域) に取り付けられた補助シート 1 4 3 と、を有してなる剥離シート (剥離シート本体 4 0 1 と補助シート 1 4 3 とを含んで剥離シートは構成される。) と、を備えてなり、基準線分 4 2 1 の少なくとも一部である規定線分部分 (ここでは基準線分 4 2 1 のうちスリット 1 4 3 h が沿っている部分) に沿った剥離シートの曲げ強度 (この曲げは、スリット 1 4 3 h が形成されている補助シート 1 4

3の部分曲げ)よりも、少なくとも第1領域(ここでは第1領域(ここでは小領域431)と第2領域(ここでは大領域432)との両領域)における規定線分部分(基準線分421のうちスリット143hが沿っている部分)に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度(この曲げは、スリット143hが形成されていない補助シート143の部分曲げなので、スリット143hが形成されている補助シート143の部分曲げの場合に比し大きな力を要する)を補助シート143が高めるものである、保護シート保持物である。

【0100】

第14本保持物141においては、補助シート143が、規定線分部分(基準線分421のうちスリット143hが沿っている部分)に沿った縁部である規定縁部(ここではスリット143hの内縁)を有するものである。

10

第14本保持物141においては、補助シート143が、規定線分部分(基準線分421のうちスリット143hが沿っている部分)に跨るよう第1領域(ここでは小領域431)と第2領域(ここでは大領域432)とに連続するものであり、規定線分部分(基準線分421のうちスリット143hが沿っている部分)に沿った補助シート143の曲げ強度が補助シート143の他の部分よりも曲げ強度が小さいものである。

第14本保持物141においては、補助シート143が、規定線分部分(基準線分421のうちスリット143hが沿っている部分)に沿ったスリット部分(スリット143h)を有するものである。

第14本保持物141においては、スリット部分(スリット143h)が、補助シート143に形成された閉じた内縁により形成されるものである。

20

第14本保持物141においては、剥離シート本体401の外縁(辺401a、401b、401c、401d)から外方に張り出す把持部分(ここでは外方に張り出す部分143f)を有し、剥離シート本体401の表面402に取り付けられた把持シート(ここでは補助シート143のうち、外方に張り出す部分143fを含む一部が構成する)を有するものである。

第14本保持物141においては、把持部分(ここでは外方に張り出す部分143f)が、基準線分421に対し垂直方向に向かって剥離シート本体401の外縁(ここでは辺401a)から外方に張り出すものである。

第14本保持物141においては、補助シート143の一部(外方に張り出す部分143fを含む一部)が把持シートを構成するものである。

30

【0101】

(第15実施形態)

図19は、第15実施形態の本考案の保護シート保持物(以下、「第15本保持物」という。)151を示す図であり、詳細には、図19(a)は第15本保持物151を剥離シート本体401の表面402側から見たところを示し(シート複合体501に関しては図1(a)と同様の方向から見ている)、図19(b)は図19(a)のB-B断面図であり、図19(c)は図19(a)のC-C断面図である。図19を参照して、第15本保持物151について説明する。

第15本保持物151は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体501と、シート複合体501を構成する剥離シート本体401の表面402に取り付けられた補助シート153と、を備えてなる。

40

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0102】

補助シート153は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており(図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。)、裏面153bが表面402に接着されることで剥離シート本体401に取り付けられている。

補助シート153の表面153a及び裏面153bのいずれも、一对の対辺153ca、153cbと、一对の対辺153cc、153cdと、を有する略長方形をなし、辺1

50

5 3 c aの両端に形成される2の角部が丸められた形状を有している。そして、補助シート1 5 3には、辺1 5 3 c a、1 5 3 c bに略平行に3つの細長いスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3（スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3いずれも表面1 5 3 aと裏面1 5 3 bとの間を貫通）が形成されている（図示及び理解を容易にするため、スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3の幅を実際よりも広く図示している。）。

補助シート1 5 3は、剥離シート本体4 0 1の表面4 0 2に垂直方向（表面4 0 2が平面に沿った状態。図1 9（a））から見て、基準線分4 2 1（図示及び理解を容易にするため、スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3の近傍のみ描いている）に沿って3つの細長いスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が存在し（細長いスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3の長手方向が基準線分4 2 1に略平行になっている）、辺1 5 3 c cが辺4 0 1 cに略平行かつ辺1 5 3 c dが辺4 0 1 dに略平行になるように表面4 0 2に取り付けられている。このため補助シート1 5 3は、3つの細長いスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3を境に一方（図1 9（a）中、上方）は小領域4 3 1に取り付けられると共に他方（図1 9（a）中、下方）は大領域4 3 2に取り付けられている。補助シート1 5 3は、辺1 5 3 c a、1 5 3 c bが辺4 0 1 a、4 0 1 bよりも短くされており辺1 5 3 c cが辺4 0 1 cよりも辺4 0 1 d側に存すると共に辺1 5 3 c dが辺4 0 1 dよりも辺4 0 1 c側に存する。また、補助シート1 5 3は、スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3と辺1 5 3 c aとの間の距離が、小領域4 3 1の幅W（図1（a）参照。辺4 0 1 c、4 0 1 dに平行な小領域4 3 1の寸法）よりも大きくされているので、辺4 0 1 aから外方に張り出す部分1 5 3 f（図1 9（a）中、辺1 5 3 c aと辺4 0 1 aとの間の補助シート1 5 3の部分）を有している。

【0 1 0 3】

かかる第1 5本保持物1 5 1は、図3に示した第1本保持物1 1の第1ステップS 1と同様、大領域4 3 2に取り付けられた補助シート1 5 3の部分（図1 9（a）中、下方側）を押さえつつ、貼着者が指で外方に張り出す部分1 5 3 fを把持し、小領域4 3 1に取り付けられた補助シート1 5 3の部分（図1 9（a）中、上方側）を基準線分4 2 1を中心に矢印V方向（図1 9（b）参照）に回動させることで（第1ステップS 1）、小領域4 3 1に取り付けられた補助シート1 5 3の部分（図1 9（a）中、上方側）が接着された剥離シート本体4 0 1の小領域4 3 1をスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿う基準線分4 2 1に沿って折り畳むことができる（表面4 0 2側から見て谷折り）。このような剥離シート本体4 0 1を基準線分4 2 1に沿って折り畳むことで、小領域4 3 1により覆われていた貼着面3 0 3の一部が露出する。

その後、図4及び図5に示した第1本保持物1 1の第2ステップS 2～第6ステップS 6と同様に第1 5本保持物1 5 1の保護シート3 0 1を電子機器6 0 1の表示部6 0 3に貼着することができる。

【0 1 0 4】

以上説明したように、第1 5本保持物1 5 1は、電子機器6 0 1の表示部6 0 3に貼着する透明な保護シート3 0 1を保持した保護シート保持物であって、表示部6 0 3に貼着するための貼着面3 0 3が裏面（操作面3 0 9とは反対の面）に形成された透明な保護シート3 0 1と、裏面4 0 4の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面3 0 3に貼着された剥離シート本体4 0 1と、貼着面3 0 3に貼着された剥離シート本体4 0 1の裏面4 0 4に対応する剥離シート本体4 0 1の表面4 0 2を横断する基準線分4 2 1が剥離シート本体4 0 1の表面4 0 2を第1領域（ここでは小領域4 3 1）と第2領域（ここでは大領域4 3 2）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは第1領域（ここでは小領域4 3 1）と第2領域（ここでは大領域4 3 2）との両領域）に取り付けられた補助シート1 5 3と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体4 0 1と補助シート1 5 3とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分4 2 1の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分4 2 1のうちスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、スリット1 5 3 h 1、

1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が形成されている補助シート1 5 3の部分（を曲げる）よりも、少なくとも第1領域（ここでは第1領域（ここでは小領域4 3 1）と第2領域（ここでは大領域4 3 2）との両領域）における規定線分部分（基準線分4 2 1のうちスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿っている部分）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が形成されていない補助シート1 5 3の部分（を曲げる）ので、スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が形成されている補助シート1 5 3の部分（を曲げる）場合に比し大きな力を要する）を補助シート1 5 3が高めるものである、保護シート保持物である。

【0105】

第1 5本保持物1 5 1においては、補助シート1 5 3が、規定線分部分（基準線分4 2 1のうちスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿っている部分）に沿った縁部である規定縁部（ここではスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3の内縁）を有するものである。

第1 5本保持物1 5 1においては、補助シート1 5 3が、規定線分部分（基準線分4 2 1のうちスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿っている部分）に跨るよう第1領域（ここでは小領域4 3 1）と第2領域（ここでは大領域4 3 2）とに連続するものであり、規定線分部分（基準線分4 2 1のうちスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿っている部分）に沿った補助シート1 5 3の曲げ強度が補助シート1 5 3の他の部分よりも曲げ強度が小さいものである。

第1 5本保持物1 5 1においては、補助シート1 5 3が、規定線分部分（基準線分4 2 1のうちスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿っている部分）に沿ったスリット部分（スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3）を有するものである。

第1 5本保持物1 5 1においては、スリット部分（スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3）が、補助シート1 5 3に形成された閉じた内縁により形成されるものである。

第1 5本保持物1 5 1においては、スリット部分（スリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3）が、規定線分部分（基準線分4 2 1のうちスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3が沿っている部分）に沿って複数（ここではスリット1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3の3個）形成されるものである。

【0106】

第1 5本保持物1 5 1においては、剥離シート本体4 0 1の外縁（辺4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分1 5 3 f）を有し、剥離シート本体4 0 1の表面4 0 2に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート1 5 3のうち、外方に張り出す部分1 5 3 fを含む一部が構成する）を有するものである。

第1 5本保持物1 5 1においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分1 5 3 f）が、基準線分4 2 1に対し垂直方向に向かって剥離シート本体4 0 1の外縁（ここでは辺4 0 1 a）から外方に張り出すものである。

第1 5本保持物1 5 1においては、補助シート1 5 3の一部（外方に張り出す部分1 5 3 fを含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0107】

（第1 6実施形態）

図2 0は、第1 6実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第1 6本保持物」という。）1 6 1を示す図であり、詳細には、図2 0（a）は第1 6本保持物1 6 1を剥離シート本体4 0 1の表面4 0 2に取り付けられた補助シート1 6 3の表面1 6 3 a側から見たところを示し、図2 0（b）は図2 0（a）のB-B断面図であり、図2 0（c）は図2 0（a）のC-C断面図である。図2 0を参照して、第1 6本保持物1 6 1について説明する。

第1 6本保持物1 6 1は、大まかには、図1に示し前述したシート複合体5 0 1と、シート複合体5 0 1を構成する剥離シート本体4 0 1の表面4 0 2に取り付けられた補助シ

10

20

30

40

50

ート163と、を備えてなる。

ここにシート複合体501については、図1を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【0108】

補助シート163は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。）、裏面163bが表面402に接着されることで剥離シート本体401に取り付けられている。

補助シート163の表面163a及び裏面163bのいずれも、一対の対辺163ca、163cbと、一対の対辺163cc、163cdと、を有する略長方形をなし、該略長方形の4の角部が丸められた形状を有している。そして、補助シート163には、辺163ca、163cbに略平行に細長くスリット163h（表面163aと裏面163bとの間を貫通）が形成されている（図示及び理解を容易にするため、スリット163hの幅を実際よりも広く図示している。）。 10

補助シート163は、剥離シート本体401の表面402に垂直方向（表面402が平面に沿った状態。図20（a））から見て、基準線分421（図示及び理解を容易にするため、スリット163hの近傍のみ描いている）に沿ってスリット163hが存在し（スリット163hの長手方向が基準線分421に略平行になっている）、辺163ccが辺401cに略重なり、辺163cdが辺401dに略重なり、そして辺163cbが辺401bに略重なるように表面402に取り付けられている。このため補助シート163は、スリット163hを境に一方（図20（a）中、上方）は小領域431に取り付けられると共に他方（図20（a）中、下方）は大領域432に取り付けられている。補助シート163は、辺163ca、163cbが辺401a、401bと略同じ長さにされている。補助シート163は、スリット163hと辺163caとの間の距離が、小領域431の幅W（図1（a）参照。辺401c、401dに平行な小領域431の寸法）よりも大きくされているので、辺401aから外方に張り出す部分163f（図20（a）中、辺163caと辺401aとの間の補助シート163の部分）を有している。 20

【0109】

かかる第16本保持物161は、図3に示した第1本保持物11の第1ステップS1と同様、大領域432に取り付けられた補助シート163の部分（図20（a）中、下方側）を押さえつつ、貼着者が指で外方に張り出す部分163fを把持し、小領域431に取り付けられた補助シート163の部分（図20（a）中、上方側）を基準線分421を中心に矢印V方向（図20（b）参照）に回動させることで（第1ステップS1）、小領域431に取り付けられた補助シート163の部分（図20（a）中、上方側）が接着された剥離シート本体401の小領域431をスリット163hが沿う基準線分421に沿って折り畳むことができる（表面402側から見て谷折り）。このような剥離シート本体401を基準線分421に沿って折り畳むことで、小領域431により覆われていた貼着面303の一部が露出する。 30

その後、図4及び図5に示した第1本保持物11の第2ステップS2～第6ステップS6と同様に第16本保持物161の保護シート301を電子機器601の表示部603に貼着することができる。 40

【0110】

以上説明したように、第16本保持物161は、電子機器601の表示部603に貼着する透明な保護シート301を保持した保護シート保持物であって、表示部603に貼着するための貼着面303が裏面（操作面309とは反対の面）に形成された透明な保護シート301と、裏面404の少なくとも一部（ここでは全部）が貼着面303に貼着された剥離シート本体401と、貼着面303に貼着された剥離シート本体401の裏面404に対応する剥離シート本体401の表面402を横断する基準線分421が剥離シート本体401の表面402を第1領域（ここでは小領域431）と第2領域（ここでは大領域432）とに分割する少なくとも第1領域（ここでは第1領域（ここでは小領域431））と第2領域（ここでは大領域432）との両領域）に取り付けられた補助シート163 50

と、を有してなる剥離シート（剥離シート本体４０１と補助シート１６３とを含んで剥離シートは構成される。）と、を備えてなり、基準線分４２１の少なくとも一部である規定線分部分（ここでは基準線分４２１のうちスリット１６３hが沿っている部分）に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、スリット１６３hが形成されている補助シート１６３の部分曲げる）よりも、少なくとも第１領域（ここでは第１領域（ここでは小領域４３１）と第２領域（ここでは大領域４３２）との両領域）における規定線分部分（基準線分４２１のうちスリット１６３hが沿っている部分）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、スリット１６３hが形成されていない補助シート１６３の部分曲げるので、スリット１６３hが形成されている補助シート１６３の部分曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート１６３が高めるものである、保護シート保持物である。

10

【０１１１】

第１６本保持物１６１においては、補助シート１６３が、規定線分部分（基準線分４２１のうちスリット１６３hが沿っている部分）に沿った縁部である規定縁部（ここではスリット１６３hの内縁）を有するものである。

第１６本保持物１６１においては、補助シート１６３が、規定線分部分（基準線分４２１のうちスリット１６３hが沿っている部分）に跨るよう第１領域（ここでは小領域４３１）と第２領域（ここでは大領域４３２）とに連続するものであり、規定線分部分（基準線分４２１のうちスリット１６３hが沿っている部分）に沿った補助シート１６３の曲げ強度が補助シート１６３の他の部分よりも曲げ強度が小さいものである。

20

第１６本保持物１６１においては、補助シート１６３が、規定線分部分（基準線分４２１のうちスリット１６３hが沿っている部分）に沿ったスリット部分（スリット１６３h）を有するものである。

第１６本保持物１６１においては、スリット部分（スリット１６３h）が、補助シート１６３に形成された閉じた内縁により形成されるものである。

第１６本保持物１６１においては、剥離シート本体４０１の外縁（辺４０１a、４０１b、４０１c、４０１d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分１６３f）を有し、剥離シート本体４０１の表面４０２に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート１６３のうち、外方に張り出す部分１６３fを含む一部が構成する）を有するものである。

30

第１６本保持物１６１においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分１６３f）が、基準線分４２１に対し垂直方向に向かって剥離シート本体４０１の外縁（ここでは辺４０１a）から外方に張り出すものである。

第１６本保持物１６１においては、補助シート１６３の一部（外方に張り出す部分１６３fを含む一部）が把持シートを構成するものである。

【０１１２】

（第１７実施形態）

図２１は、第１７実施形態の本考案の保護シート保持物（以下、「第１７本保持物」という。）１７１を示す図であり、詳細には、図２１（a）は第１７本保持物１７１を剥離シート本体４０１の表面４０２側から見たところを示し（シート複合体５０１に関しては図１（a）と同様の方向から見ている）、図２１（b）は図２１（a）のＢ－Ｂ断面図であり、図２１（c）は図２１（a）のＣ－Ｃ断面図である。図２１を参照して、第１７本保持物１７１について説明する。

40

第１７本保持物１７１は、大まかには、図１に示し前述したシート複合体５０１と、シート複合体５０１を構成する剥離シート本体４０１の表面４０２に取り付けられた補助シート１７３と、を備えてなる。

ここにシート複合体５０１については、図１を参照して既に説明したので、ここでは説明を省略する。

【０１１３】

補助シート１７３は、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されており（図

50

示及び理解を容易にするため、実際よりも厚く図示している。) 、裏面 1 7 3 b が表面 4 0 2 に接着されることで剥離シート本体 4 0 1 に取り付けられている。

補助シート 1 7 3 の表面 1 7 3 a 及び裏面 1 7 3 b のいずれも、一対の対辺 1 7 3 c a 、1 7 3 c b と、一対の対辺 1 7 3 c c 、1 7 3 c d と、を有する略長方形をなし、辺 1 7 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。そして、補助シート 1 7 3 には、辺 1 7 3 c a 、1 7 3 c b に略平行にミシン目部分 1 7 3 m (表面 1 7 3 a と裏面 1 7 3 b との間を貫通) が形成されている。

補助シート 1 7 3 は、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に垂直方向 (表面 4 0 2 が平面に沿った状態。図 2 1 (a)) から見て、基準線分 4 2 1 (図示及び理解を容易にするため、ミシン目部分 1 7 3 m の近傍のみ描いている) に沿ってミシン目部分 1 7 3 m が存在し (図示及び理解を容易にするため、図 2 1 (a) においてはミシン目部分 1 7 3 m と基準線分 4 2 1 との間が離れているが、実際はミシン目部分 1 7 3 m は基準線分 4 2 1 に重なっている) 、辺 1 7 3 c c が辺 4 0 1 c に略平行かつ辺 1 7 3 c d が辺 4 0 1 d に略平行になるように表面 4 0 2 に取り付けられている。このため補助シート 1 7 3 は、ミシン目部分 1 7 3 m を境に一方 (図 2 1 (a) 中、上方) は小領域 4 3 1 に取り付けられると共に他方 (図 2 1 (a) 中、下方) は大領域 4 3 2 に取り付けられている。補助シート 1 7 3 は、辺 1 7 3 c a 、1 7 3 c b が辺 4 0 1 a 、4 0 1 b よりも短くされており辺 1 7 3 c c が辺 4 0 1 c よりも辺 4 0 1 d 側に存すると共に辺 1 7 3 c d が辺 4 0 1 d よりも辺 4 0 1 c 側に存する。また、補助シート 1 7 3 は、ミシン目部分 1 7 3 m と辺 1 7 3 c a との間の距離が、小領域 4 3 1 の幅 W (図 1 (a) 参照。辺 4 0 1 c 、4 0 1 d に平行な小領域 4 3 1 の寸法) よりも大きくされているので、辺 4 0 1 a から外方に張り出す部分 1 7 3 f (図 2 1 (a) 中、辺 1 7 3 c a と辺 4 0 1 a との間の補助シート 1 7 3 の部分) を有している。

【0 1 1 4】

かかる第 1 7 本保持物 1 7 1 は、図 3 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 1 ステップ S 1 と同様、大領域 4 3 2 に取り付けられた補助シート 1 7 3 の部分 (図 2 1 (a) 中、下方側) を押さえつつ、貼着者が指で外方に張り出す部分 1 7 3 f を把持し、小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 1 7 3 の部分 (図 2 1 (a) 中、上方側) を基準線分 4 2 1 を中心に矢印 V 方向 (図 2 1 (b) 参照) に回動させることで (第 1 ステップ S 1) 、小領域 4 3 1 に取り付けられた補助シート 1 7 3 の部分 (図 2 1 (a) 中、上方側) が接着された剥離シート本体 4 0 1 の小領域 4 3 1 をミシン目部分 1 7 3 m が沿う基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことができる (表面 4 0 2 側から見て谷折り) 。このような剥離シート本体 4 0 1 を基準線分 4 2 1 に沿って折り畳むことで、小領域 4 3 1 により覆われていた貼着面 3 0 3 の一部が露出する。

その後、図 4 及び図 5 に示した第 1 本保持物 1 1 の第 2 ステップ S 2 ~ 第 6 ステップ S 6 と同様に第 1 7 本保持物 1 7 1 の保護シート 3 0 1 を電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着することができる。

【0 1 1 5】

以上説明したように、第 1 7 本保持物 1 7 1 は、電子機器 6 0 1 の表示部 6 0 3 に貼着する透明な保護シート 3 0 1 を保持した保護シート保持物であって、表示部 6 0 3 に貼着するための貼着面 3 0 3 が裏面 (操作面 3 0 9 とは反対の面) に形成された透明な保護シート 3 0 1 と、裏面 4 0 4 の少なくとも一部 (ここでは全部) が貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 と、貼着面 3 0 3 に貼着された剥離シート本体 4 0 1 の裏面 4 0 4 に対応する剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を横断する基準線分 4 2 1 が剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 を第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1) と第 2 領域 (ここでは大領域 4 3 2) とに分割する少なくとも第 1 領域 (ここでは第 1 領域 (ここでは小領域 4 3 1)) と第 2 領域 (ここでは大領域 4 3 2) との両領域) に取り付けられた補助シート 1 7 3 と、を有してなる剥離シート (剥離シート本体 4 0 1 と補助シート 1 7 3 とを含んで剥離シートは構成される。) と、を備えてなり、基準線分 4 2 1 の少なくとも一部である規定線分部分 (ここでは基準線分 4 2 1 のうちミシン目部分 1 7 3 m が沿っている部分) に沿

った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、ミシン目部分 1 7 3 m が形成されている補助シート 1 7 3 の部分を曲げる）よりも、少なくとも第 1 領域（ここでは第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）と第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）との両領域）における規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうちミシン目部分 1 7 3 m が沿っている部分）に平行な線分に沿った剥離シートの曲げ強度（この曲げは、ミシン目部分 1 7 3 m が形成されていない補助シート 1 7 3 の部分を曲げるので、ミシン目部分 1 7 3 m が形成されている補助シート 1 7 3 の部分を曲げる場合に比し大きな力を要する）を補助シート 1 7 3 が高めるものである、保護シート保持物である。

【0 1 1 6】

第 1 7 本保持物 1 7 1 においては、補助シート 1 7 3 が、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうちミシン目部分 1 7 3 m が沿っている部分）に跨るよう第 1 領域（ここでは小領域 4 3 1）と第 2 領域（ここでは大領域 4 3 2）とに連続するものであり、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうちミシン目部分 1 7 3 m が沿っている部分）に沿った補助シート 1 7 3 の曲げ強度が補助シート 1 7 3 の他の部分よりも曲げ強度が小さいものである。

第 1 7 本保持物 1 7 1 においては、補助シート 1 7 3 が、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうちミシン目部分 1 7 3 m が沿っている部分）に沿ったミシン目部分 1 7 3 m を有するものである。また、ここではそうしていないが、補助シート 1 7 3 が、ミシン目部分 1 7 3 m に替えて又はミシン目部分 1 7 3 m と一緒に、規定線分部分（基準線分 4 2 1 のうちミシン目部分 1 7 3 m が沿っている部分）に沿った薄肉部分（例えば、凹条）を有するようにしてもよい。

第 1 7 本保持物 1 7 1 においては、剥離シート本体 4 0 1 の外縁（辺 4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d）から外方に張り出す把持部分（ここでは外方に張り出す部分 1 7 3 f）を有し、剥離シート本体 4 0 1 の表面 4 0 2 に取り付けられた把持シート（ここでは補助シート 1 7 3 のうち、外方に張り出す部分 1 7 3 f を含む一部が構成する）を有するものである。

第 1 7 本保持物 1 7 1 においては、把持部分（ここでは外方に張り出す部分 1 7 3 f）が、基準線分 4 2 1 に対し垂直方向に向かって剥離シート本体 4 0 1 の外縁（ここでは辺 4 0 1 a）から外方に張り出すものである。

第 1 7 本保持物 1 7 1 においては、補助シート 1 7 3 の一部（外方に張り出す部分 1 7 3 f を含む一部）が把持シートを構成するものである。

【0 1 1 7】

なお、上記した実施形態において補助シートは、透明な合成樹脂製の薄膜状のフィルムにより形成されたものを一例として挙げたが、これに限定されるものでないことは言うまでもなく、透明か不透明かはいずれでもよく、色彩もどのようなものであってもよい。そして、材質も合成樹脂製フィルムに限定されるものではなく、天然樹脂製フィルムや紙等としてもよい。さらに、補助シートの厚みも上述の使用方法に支障がない範囲であれば何ら限定されるものではない。

なお、上記した実施形態において補助シート（表面や裏面）の角部が丸められた形状を有しているものもあるが（例えば、補助シート 1 3 の表面 1 3 a 及び裏面 1 3 b は、辺 1 3 c a の両端に形成される 2 の角部が丸められた形状を有している。）、該丸められた角部を丸めずにとがった直角の角部としてもよく、また、上記した実施形態において丸められていない角部を適宜丸めるようにしてよいことは勿論である。

【符号の説明】

【0 1 1 8】

1 1	第 1 本保持物
1 3	補助シート
1 3 a	表面
1 3 b	裏面
1 3 c a、1 3 c b、1 3 c c、1 3 c d	辺
1 3 f	外方に張り出す部分

2 1	第 2 本保持物	
2 3	補助シート	
2 3 a	表面	
2 3 b	裏面	
2 3 c a、2 3 c b、2 3 c c、2 3 c d	辺	
2 3 f	外方に張り出す部分	
3 1	第 3 本保持物	
3 3	補助シート	
3 3 a	表面	
3 3 b	裏面	10
3 3 c a、3 3 c b、3 3 c c、3 3 c d	辺	
3 3 f	外方に張り出す部分	
4 1	第 4 本保持物	
4 3	補助シート	
4 3 a	表面	
4 3 b	裏面	
4 3 c a、4 3 c b、4 3 c c、4 3 c d	辺	
4 3 f	外方に張り出す部分	
5 1	第 5 本保持物	
5 3	補助シート	20
5 3 a	表面	
5 3 b	裏面	
5 3 c a、5 3 c b、5 3 c c、5 3 c d	辺	
5 3 f	外方に張り出す部分	
6 1	第 6 本保持物	
6 3	補助シート	
6 3 a	表面	
6 3 b	裏面	
6 3 c a、6 3 c b、6 3 c c、6 3 c d	辺	
6 3 f	外方に張り出す部分	30
7 1	第 7 本保持物	
7 3	補助シート	
7 3 a	表面	
7 3 b	裏面	
7 3 c a、7 3 c b、7 3 c c、7 3 c d	辺	
7 3 f	外方に張り出す部分	
8 1	第 8 本保持物	
8 3	補助シート	
8 3 a	表面	
8 3 b	裏面	40
8 3 c a、8 3 c b、8 3 c c、8 3 c d	辺	
8 3 f	外方に張り出す部分	
9 1	第 9 本保持物	
9 3	補助シート	
9 3 b	裏面	
9 3 c b、9 3 c c	辺	
9 3 f	外方に張り出す部分	
9 3 p	横短冊状部分	
9 3 q	縦短冊状部分	
1 0 1	第 1 0 本保持物	50

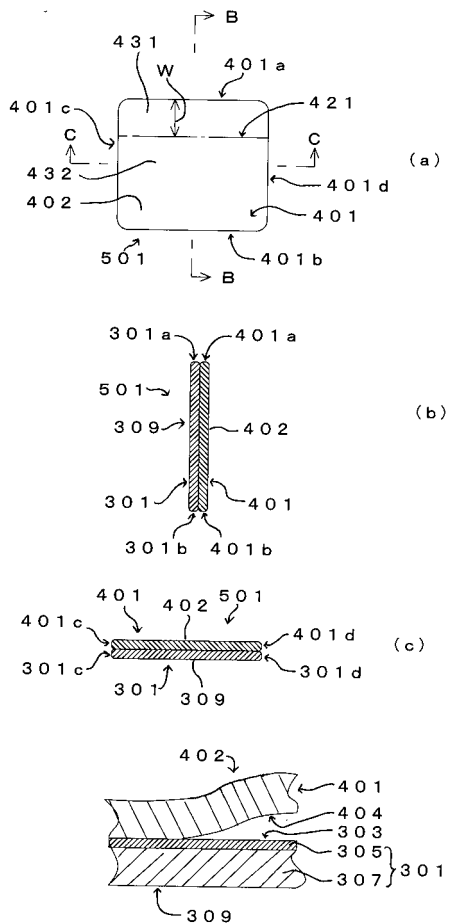
1 0 3	補助シート	
1 0 3 a、1 0 3 b、1 0 3 c	単位シート	
1 0 3 a b、1 0 3 b b、1 0 3 c b	裏面	
1 0 3 f	外方に張り出す部分	
1 0 3 s	短辺	
1 1 1	第 1 1 本保持物	
1 1 3	補助シート	
1 1 3 b	裏面	
1 1 3 c b	辺	
1 1 4	把持シート	10
1 1 4 b	裏面	
1 1 4 f	外方に張り出す部分	
1 2 1	第 1 2 本保持物	
1 2 3	補助シート	
1 2 3 b	裏面	
1 2 3 c b	辺	
1 2 4 a、1 2 4 b	把持シート	
1 2 4 f	外方に張り出す部分	
1 3 1	第 1 3 本保持物	
1 3 3	第 1 補助シート	20
1 3 3 b	裏面	
1 3 3 c b	辺	
1 3 4	第 2 補助シート	
1 3 4 b	裏面	
1 3 4 s	短辺	
1 3 4 f	外方に張り出す部分	
1 4 1	第 1 4 本保持物	
1 4 3	補助シート	
1 4 3 a	表面	
1 4 3 b	裏面	30
1 4 3 c a、1 4 3 c b、1 4 3 c c、1 4 3 c d	辺	
1 4 3 f	外方に張り出す部分	
1 4 3 h	スリット	
1 5 1	第 1 5 本保持物	
1 5 3	補助シート	
1 5 3 a	表面	
1 5 3 b	裏面	
1 5 3 c a、1 5 3 c b、1 5 3 c c、1 5 3 c d	辺	
1 5 3 f	外方に張り出す部分	
1 5 3 h 1、1 5 3 h 2、1 5 3 h 3	スリット	40
1 6 1	第 1 6 本保持物	
1 6 3	補助シート	
1 6 3 a	表面	
1 6 3 b	裏面	
1 6 3 c a、1 6 3 c b、1 6 3 c c、1 6 3 c d	辺	
1 6 3 f	外方に張り出す部分	
1 6 3 h	スリット	
1 7 1	第 1 7 本保持物	
1 7 3	補助シート	
1 7 3 a	表面	50

1 7 3 b	裏面
1 7 3 c a、1 7 3 c b、1 7 3 c c、1 7 3 c d	辺
1 7 3 f	外方に張り出す部分
1 7 3 m	ミシン目部分
3 0 1	保護シート
3 0 1 a、3 0 1 b、3 0 1 c、3 0 1 d	辺
3 0 3	貼着面
3 0 5	接着層
3 0 7	保護シート本体
3 0 9	操作面
4 0 1	剥離シート本体
4 0 1 a、4 0 1 b、4 0 1 c、4 0 1 d	辺
4 0 2	表面
4 0 4	裏面
4 2 1	基準線分
4 3 1	小領域
4 3 2	大領域
5 0 1	シート複合体
6 0 1	電子機器
6 0 3	表示部
7 0 1	指

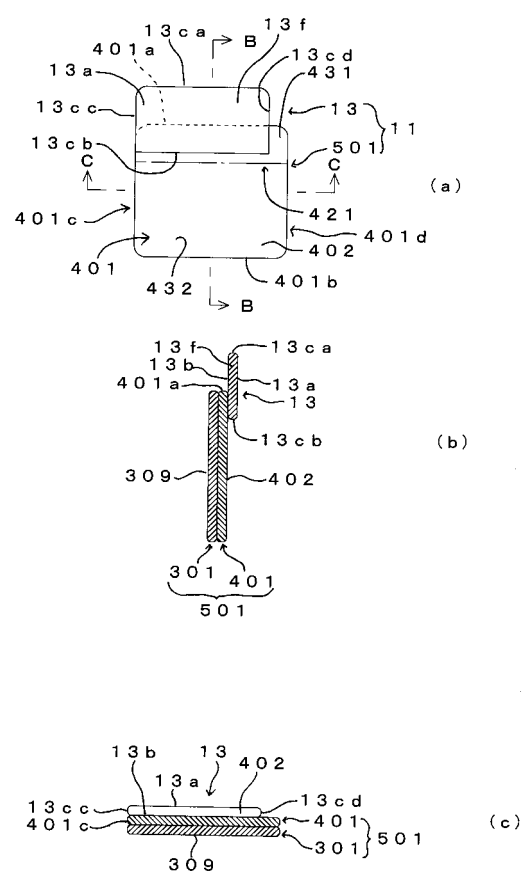
10

20

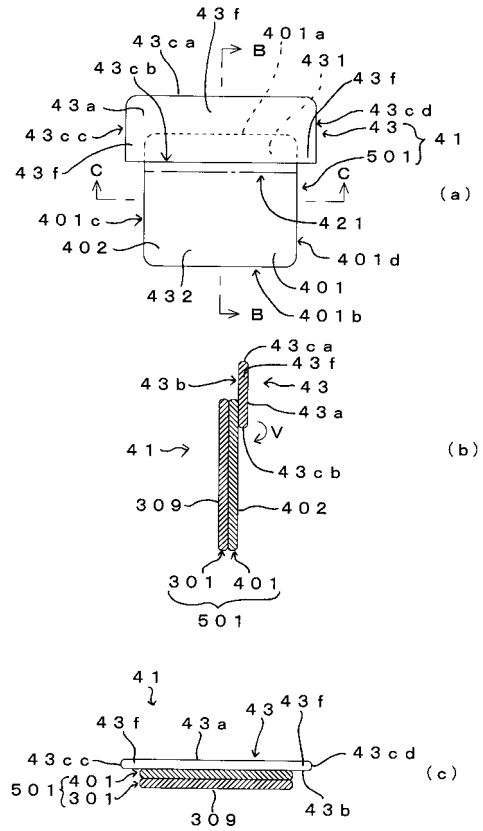
【図 1】



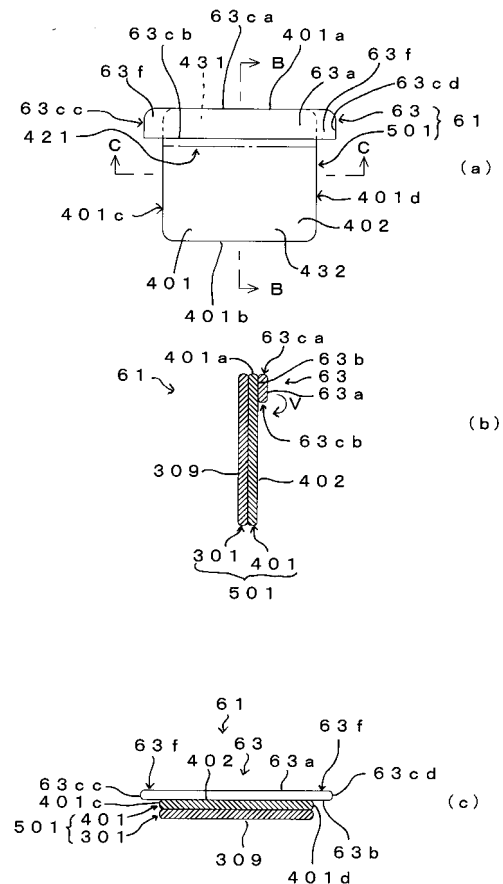
【図 2】



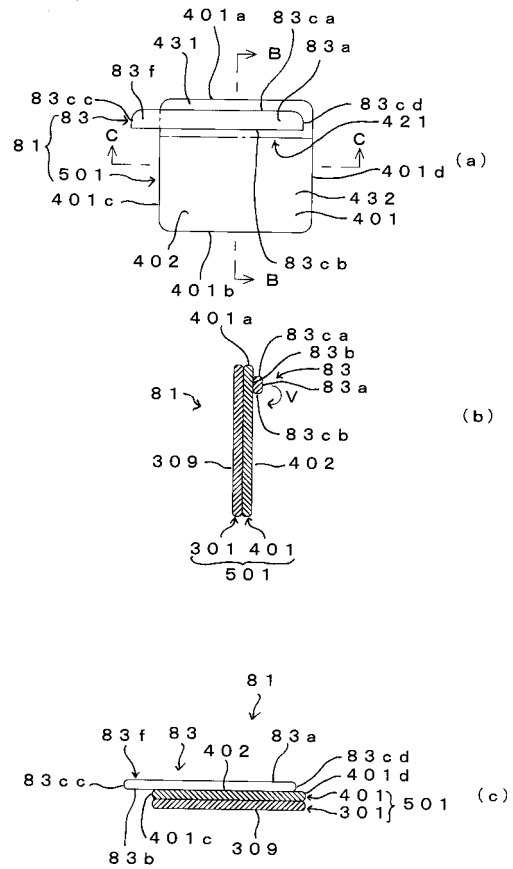
【图 8】



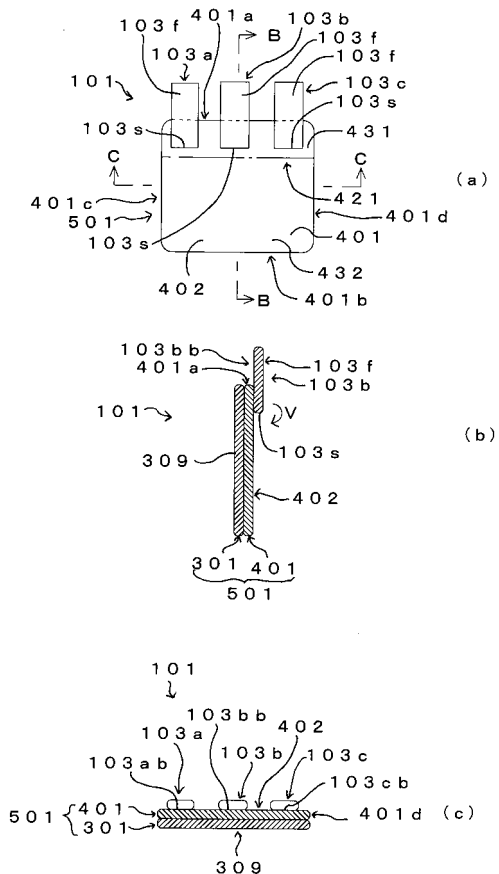
【图 10】



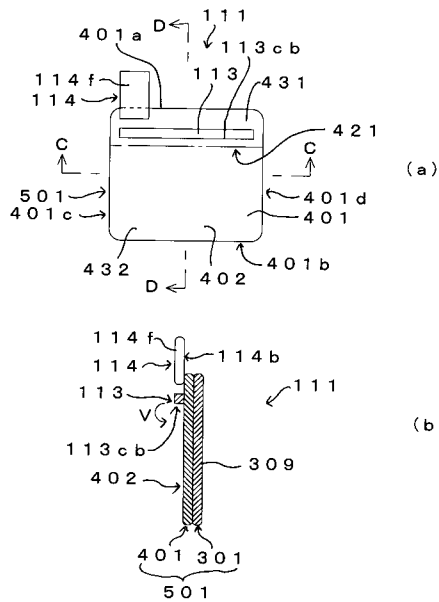
【図 1 2】



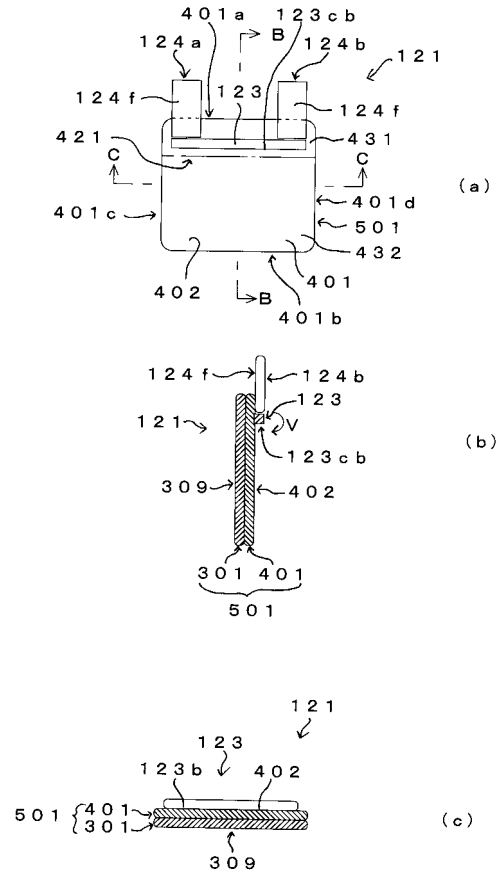
【図 14】



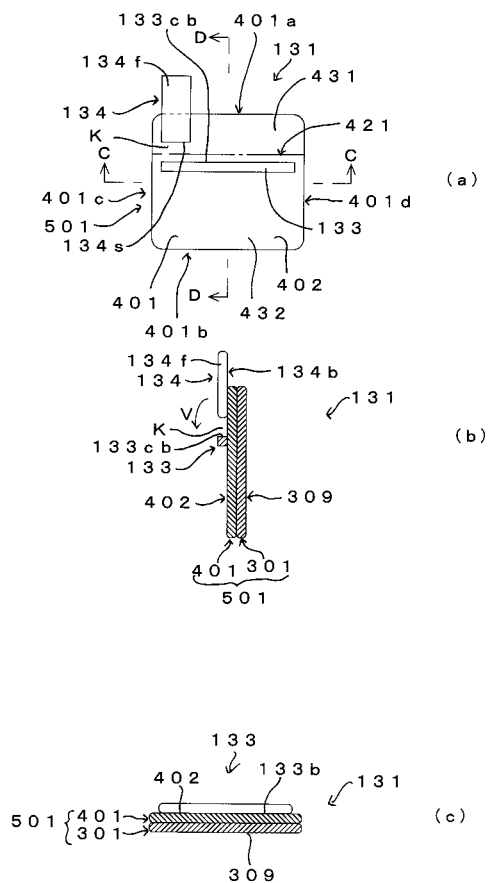
【図 15】



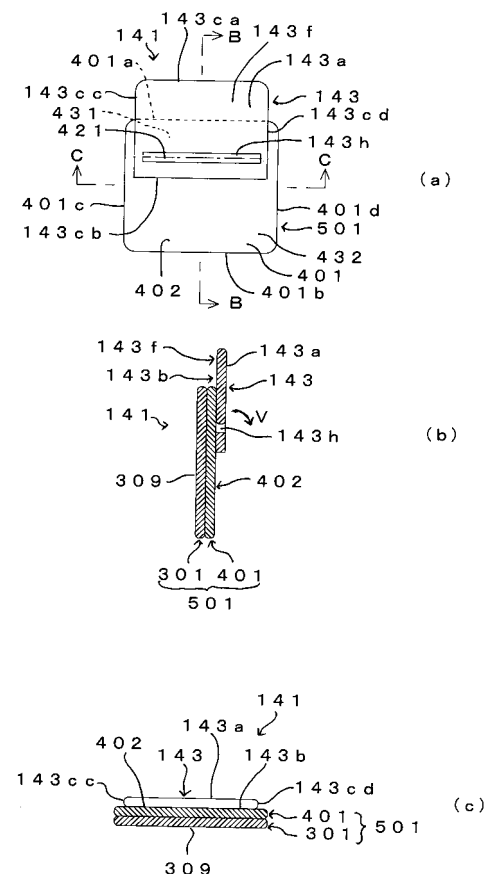
【図 16】



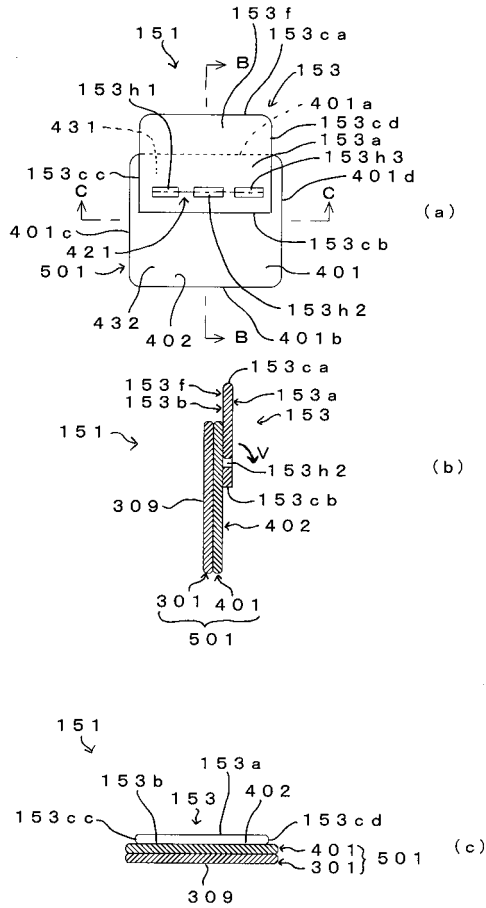
【図 17】



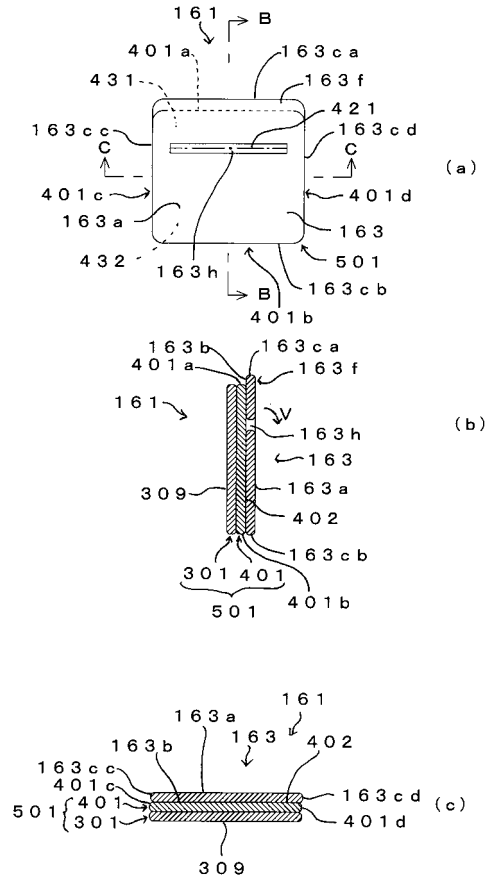
【図 18】



【図 19】



【図 20】



【図 21】

